

# 国宝 興福寺五重塔 揚前工事

意匠図		構造図		ジャッキアップ図		補強金物図	
No	図面名称	No	図面名称	No	図面名称	No	図面名称
A-01	表紙・図面リスト	S-01	構造設計標準仕様(1)	J-00	揚前工事 ジャッキアップ仕様書	R-01	初重隅大斗補強金物図
A-02	特記仕様書1	S-02	構造設計標準仕様(2)	J-01	フレーム平面図(下層)		
A-03	特記仕様書2	S-03	鉄筋コンクリート標準配筋図(1)	J-02	フレーム平面図(上層)		
A-04	特記仕様書3	S-04	鉄筋コンクリート標準配筋図(2)	J-03	フレーム軸組図(B1/8) ジャッキアップ前		
A-05	特記仕様書4	S-05	鉄骨工作標準図(1)	J-04	フレーム軸組図(B1/8) ジャッキアップ後		
A-06	特記仕様書5	S-06	鉄骨工作標準図(2)	J-05	フレーム軸組図(B2/7) ジャッキアップ前		
A-07	特記仕様書6	S-07	地盤調査結果	J-06	フレーム軸組図(B2/7) ジャッキアップ後		
A-08	特記仕様書7	S-08	基礎伏図	J-07	フレーム軸組図(B3/6) ジャッキアップ前		
A-09	工事概要・附近見取図	S-09	基礎鉄骨伏図	J-08	フレーム軸組図(B3/6) ジャッキアップ後		
A-10	配置図(現況・撤去・改造)	S-10	下層1段目(L1-415レベル)伏図	J-09	フレーム軸組図(B4/5) ジャッキアップ前		
A-11	撤去・改造詳細図	S-11	下層2段目(L1±0レベル)伏図	J-10	フレーム軸組図(B4/5) ジャッキアップ後		
A-12	配置図(揚前工事中)	S-12	L1+2000レベル伏図	J-11	二重柱揚げ前要領断面図(隅柱・側柱)		
A-13	ジャッキアップ架台配置基準図	S-13	L1+4025レベル伏図	J-12	二重柱揚げ前要領平面図(隅柱・側柱)		
A-14	ジャッキアップ架台基礎部伏図	S-14	L1+5551レベル伏図	J-13	二重柱脚部積みプレート要領図(隅柱・側柱)		
A-15	ジャッキアップ架台上層断面図	S-15	上層1段目(L1+7231=L2-500レベル)伏図	J-14	柱脚み詳細図(隅柱)		
A-16	断面図1	S-16	上層2段目(L1+7731=L2±0レベル)伏図	J-15	柱脚み詳細図(側柱)		
A-17	断面図2	S-17	軸組図(1) B1,B8通り	J-16	サドル詳細図		
A-18	断面図3	S-18	軸組図(2) B2,B7通り	J-17	小屋組受 支柱配置図(1)		
A-19	断面図4	S-19	軸組図(3) B3,B6通り	J-18	小屋組受 支柱配置図(2)		
A-20	断面図5	S-20	軸組図(3) B4,B5通り	J-19	小屋組受 支柱配置図(3)		
		S-21	軸組図(5) 隅切り部	J-20	小屋組受 支柱立面図		
		S-22	基礎断面表	J-21	小屋組受 支柱断面図		
		S-23	鉄骨部材断面表	J-22	水平ジャッキ詳細図(B2/3/6/7) ジャッキアップ前		
		S-24	鉄骨部分詳細図(1) B1通り	J-23	水平ジャッキ詳細図(B2/3/6/7) ジャッキアップ後		
		S-25	鉄骨部分詳細図(2) B2通り	J-24	水平ジャッキ詳細図(B1/8) ジャッキアップ前		
		S-26	鉄骨部分詳細図(3) KP1	J-25	水平ジャッキ詳細図(B1/8) ジャッキアップ後		
		S-27	鉄骨部分詳細図(4) 中央桁交差部	J-26	C1柱脚部詳細図		
		S-28	鉄骨部分詳細図(5) 桁交差部他	J-27	二重四柱揚げ前要領図		
		S-29	鉄骨部分詳細図(6) C1柱脚部他	J-28	レベル設定 離隔チェック図		
		S-30	揚前構台基礎と素屋根基礎のつなぎ要領図	J-29	揚げ前手順A図		
				J-30	揚げ前手順B図		
				J-31	揚げ前手順C図		
				J-参01	参考)点群画像 重合図 フレーム軸組B4/5 ジャッキアップ前		
				J-参02	参考)点群画像 重合図 フレーム軸組B4/5 ジャッキアップ後		
				J-参03	参考)柱脚み治具金物図(1)		
				J-参04	参考)柱脚み治具金物図(2)		
				J-参05	参考)柱脚み治具金物図(3)		
				J-参06	参考)柱脚み治具金物図(4)		
				J-参07	参考)柱脚み治具金物図(5)		
				J-参08	参考)柱脚み治具金物図(6)		
				J-参09	参考)揚げ前詳細工程表(1)		
				J-参10	参考)揚げ前詳細工程表(2)		



章	項目	特記事項	
5	⑥ 砂利地盤及び砂地盤	砂利地盤に使用する砂利 (4.6.2) ※再生クワツァーファン 切込み砂利又は切込み砕石 砂地盤に使用する砂 (4.6.3) ・ソルト ・有機物等の混入しない締め固め用山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利及び砂地盤の厚さ(mm) ※60	
	⑦ 着てコンクリート地盤	厚さ(mm) ⑤50 ⑥100mm (4.6.4)	
8	床下防潮層	防潮層の材料及び施工範囲 (4.6.5) 材 質 ※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm×2枚 重ね幅 縦横共250mm以上 施工範囲 ※図示(図面番号) ・基礎床版及び土間コンクリート下地 (ピット下は除く)	
	9 地盤改良工事	・セメント系固材材 100kg/m <sup>3</sup> 注入 ・ 図示(図面番号)	
5	1 鉄筋	(5.2)(表5.2.1) 規格 ・ JIS G 3112 種別 ・ SR235 ・ SR295 ※ SD295A ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ SD295B ※ SD345 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・ D29 ・ D32 ・ SD390 ・ 建築基準法第37条規定に基づき認定を受けたせん断補強筋	
	2 溶接金網	(5.2.2) 網目の形状寸法 鉄線の径(mm)	
	3 鉄筋の継手及び定着	(5.3.4) 継手 部位 柱、梁の主筋 ・ ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ 機械式 ※ 溶接 径(mm) D19, D22, D25 その他 ・ 重ね継手 主筋及び耐力壁が重ね継手の場合の継手長さ ※ 継手仕様書 5.3.4(3)による 隅り合う継手の位置 ※ 継手仕様書 5.3.4(4)による ・ 先組み工法等で同一箇所に設ける 定着長さ ※ 継手仕様書 5.3.4(5)による 仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さ及び、表5.3.4のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 ※ 継手仕様書 5.3.3による	
	4 鉄筋のかぶり厚さ(溶接金網を含む)	(5.3.5)(表5.3.6) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 最小かぶり厚さ ※ 継手仕様書 表5.3.6による ・ 図示による ( ) ・ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下記による。 施工箇所等 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 標準仕様書表5.3.6の値に加える数字(mm) ・ 20 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法(mm) ( )	
	5 打圧終了後の試験	(5.4.10) ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 試験方法 ※ 標準仕様書 5.4.10(1)(b)①～⑥による	
	6 機械式継手及び溶接継手	(5.5.1)(表5.6.1) ※ 機械式継手種類 ( ) 「鉄筋の継手の構造方法を定める件」建設省告示第1463号 継手の工法 ( )、品質の確認方法 ( )、修正方法 ( )	
	7 基礎及び基礎梁の配筋	(表1)(表1)(表1.2) 直接基礎の配筋 ・ 各部配筋参考図1.1による 基礎の底面のGL面からの深さ及び基礎2Fの厚さ(mm) ( ) 鉄筋の間隔(mm)又は本数 ( ) 基礎の形状 ( ) はかま筋の有無 ・ 有 ・ 無 ・ 図示 基礎接合部の補強配筋 ・ 各部配筋参考図1.2による ・ 図示 基礎梁主筋の継手、定着及び余長 (表1.3)(表1.4～1.7) ・ 各部配筋参考図1.3による ・ 図示 基礎梁のあばら筋 (表1.4)(表1.8) ・ 各部配筋参考図1.4による ・ 図示	
	8 柱の配筋	(表2)(表2.1) 柱主筋の継手、定着及び余長 ・ 各部配筋参考図2.1による かぶり厚さ ( ) ・ 図示 帯筋組立の形及び割付け ・ 各部配筋参考図2.2による 帯筋組立の形 ( ) 帯筋の間隔(mm) ( ) ・ 図示 柱の打増し補強 ・ 各部配筋参考図2.3による 軸方向の補強筋本数 打増し幅 ・ 図示	
	6	9 梁の配筋	(表3)(表3.1～3.4) 大梁主筋の継手、定着及び余長 ・ 各部配筋参考図3.1による ハンチのある場合のハンチ部分の補強 ( ) ・ 図示 あばら筋(小梁、片持ち梁、基礎梁含む)の組立の形及び割付け等 ・ 各部配筋参考図3.2による あばら筋組立の形 ( ) ・ 図示 梁の打増し補強 ・ 各部配筋参考図3.3による 軸方向の補強筋本数 ( ) 打増し幅 ( ) ・ 図示 小梁主筋の継手、定着及び余長 (表3.4)(表3.11)(表3.12) ・ 図示 片持ち梁主筋の継手、定着及び余長 (表3.5)(表3.13)(表3.14) ・ 図示
		10 壁及びその他の配筋	(表4)(表4.1)(表4.2) 壁の基準配筋 ・ 各部配筋参考図表4.1による 配筋の種類 ( ) 壁の厚さ ( ) ・ 図示 壁の継手及び定着 (表4.2)(表4.1) ・ 各部配筋参考図4.2による 壁筋の間隔 ( ) ・ 図示 壁の交差部及び端部の配筋 ・ 各部配筋参考図4.3による ・ 図示 壁の開口部補強 ・ 各部配筋参考図4.4による A形 ・ B形 ・ 図示 壁の打増し補強 (表4.5)(表4.4) ・ 各部配筋参考図4.5による 縦筋及び横筋の間隔 ( ) 打増し幅 ( ) ・ 図示 パレットの配筋 (表4.6)(表4.5) ・ 各部配筋参考図4.6による 縦筋及び横筋の間隔 ( ) コンクリートの厚さ(mm) ( ) ・ 図示
6	11 スラブの配筋	(表5)(表5.1)(表5.1) スラブの基準配筋 ・ 各部配筋参考図5.1による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) ・ 図示 スラブ筋の定着及び受け筋 ・ 各部配筋参考図5.2による ・ 図示 片持ちスラブの基準配筋 ・ 各部配筋参考図5.3による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) ・ 図示 片持ちスラブの先端に壁が付く場合の配筋 ・ 各部配筋参考図5.4による ・ 図示 スラブ開口部補強 ・ 各部配筋参考図5.5による ・ 図示 出隅部及び入隅部の補強配筋 ・ 各部配筋参考図5.6による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) 鉄筋の間隔(mm)又は本数 ( ) ・ 図示 スラブの打増し補強等 ・ 各部配筋参考図5.7による ・ 図示 段差のあるスラブの補強配筋 ・ 各部配筋参考図5.8による ・ 図示	
	12 階段の配筋	(表6)(表6.1)(表6.1) 片持ちスラブ形階段の基準配筋 ・ 各部配筋参考図6.1による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) ・ 図示 二辺固定スラブ形階段の基準配筋 ・ 各部配筋参考図6.2による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) ・ 図示	
6	13 梁貫通孔及びその他の配筋	(表7)(表7.1)(表7.2) 梁貫通孔の配筋 ・ 各部配筋参考図7.1による ・ 図示 梁貫通孔の補強形式 ・ 各部配筋参考図7.2による 配筋種類 ( ) ・ 図示 コンクリートブロック壁との取合い ・ 各部配筋参考図7.3による ・ 図示	
	1 1 コンクリートの種類及び強度	(表6.2)(表6.2.2) ・ 普通コンクリート 設計基準強度F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) 適用範囲 ・ 2.4 躯体 ・ 2.1 土間カーナ・外構工作物 ・ 1.8 捨てカーナ	
7	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ・ 指定性能評価機関による認定を受けた工場(・Sグレード ・Hグレード以上 ・Mグレード以上 ・Rグレード以上 ・Jグレード以上)	
	2 施工管理技術者	施工管理技術者の適用 ※ 適用する	
	3 鋼材	鋼材の材質、形状、寸法及び使用箇所 ※ 図示(図面番号)	
	4 高力ボルト	高力ボルトの種類 ・ トルプ形高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの)(XS10T) ・ JIS形高力ボルト(JIS B 1186)(XF10T) ・ 形数並列めっき高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの)(XF8T相当) 高力ボルトの径 ※ 図示(図面番号)	
	5 普通ボルト	ボルト及びナットの材質 ※ 標準仕様書表7.2.3による 普通ボルトの径 ※ 図示(図面番号) 母皿又は鋼線鉄の取付けに使用するボルトの孔径 ※ ねじの呼び径+1.0mm	
	6 アンカーボルト	構造用アンカーボルトの種類(材質はJIS B 1220) ・ 建方用アンカーボルトの種類(材質はJIS G 3101) ・ アンカーボルト及びナットのねじの種類と規格等 ※ 標準仕様書表7.2.3による	
	7 溶接材料	※ 標準仕様書7.2.5(a)又は(b)による ・ 図示(図面番号)	
	8 ターンバックル	鋼の材質 ※ 別添式 ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ねじの呼び ※ 図示(図面番号)	
	9 チェキプレートの材質、形状及び寸法	・ チェキプレート単独の構造 ※ 図示(図面番号) ・ チェキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造 ※ 図示(図面番号)	
	10 柱底均しモルタル	モルタルの種類 ・ 無収縮モルタル 無収縮モルタルの材質、割合等 ・ 標準仕様書7.2.9(b)～(4)による ・ 標準仕様書7.2.9(a)によるモルタル	
	11 工作面	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 国土交通省大臣官庁官庁官制部監修「建築鉄骨設計基準」による	
	12 仮組	※ 実施する(部位)	
	13 摩損面の性能及び処理	高力ボルト接合における摩損面のすべり係数試験 ・ 実施する 試験の実施範囲 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合の摩損面 試験の方法 ※ 監督職員が承諾する方法	
	14 検査付加試験	・ 行う ( )	
	15 材料準備	開先の形状等	

5	鉄筋工事 (※構造図による)	1 鉄筋	(表5.2)(表5.2.1) 規格 ・ JIS G 3112 種別 ・ SR235 ・ SR295 ※ SD295A ・ D10 ・ D13 ・ D16 ・ SD295B ※ SD345 ・ D19 ・ D22 ・ D25 ・ D29 ・ D32 ・ SD390 ・ 建築基準法第37条規定に基づき認定を受けたせん断補強筋
		2 溶接金網	(表5.2.2) 網目の形状寸法 鉄線の径(mm)
		3 鉄筋の継手及び定着	(表5.3.4) 継手 部位 柱、梁の主筋 ・ ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ 機械式 ※ 溶接 径(mm) D19, D22, D25 その他 ・ 重ね継手 主筋及び耐力壁が重ね継手の場合の継手長さ ※ 継手仕様書 5.3.4(3)による 隅り合う継手の位置 ※ 継手仕様書 5.3.4(4)による ・ 先組み工法等で同一箇所に設ける 定着長さ ※ 継手仕様書 5.3.4(5)による 仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さ及び、表5.3.4のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 ※ 継手仕様書 5.3.3による
		4 鉄筋のかぶり厚さ(溶接金網を含む)	(表5.3.5)(表5.3.6) ※ かぶり厚さは目地底から算定する。 最小かぶり厚さ ※ 継手仕様書 表5.3.6による ・ 図示による ( ) ・ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下記による。 施工箇所等 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 標準仕様書表5.3.6の値に加える数字(mm) ・ 20 ・ 特殊な鉄筋継手のあき寸法(mm) ( )
		5 打圧終了後の試験	(表5.4.10) ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 試験方法 ※ 標準仕様書 5.4.10(1)(b)①～⑥による
		6 機械式継手及び溶接継手	(表5.5.1)(表5.6.1) ※ 機械式継手種類 ( ) 「鉄筋の継手の構造方法を定める件」建設省告示第1463号 継手の工法 ( )、品質の確認方法 ( )、修正方法 ( )
		7 基礎及び基礎梁の配筋	(表1)(表1)(表1.2) 直接基礎の配筋 ・ 各部配筋参考図1.1による 基礎の底面のGL面からの深さ及び基礎2Fの厚さ(mm) ( ) 鉄筋の間隔(mm)又は本数 ( ) 基礎の形状 ( ) はかま筋の有無 ・ 有 ・ 無 ・ 図示 基礎接合部の補強配筋 ・ 各部配筋参考図1.2による ・ 図示 基礎梁主筋の継手、定着及び余長 (表1.3)(表1.4～1.7) ・ 各部配筋参考図1.3による ・ 図示 基礎梁のあばら筋 (表1.4)(表1.8) ・ 各部配筋参考図1.4による ・ 図示
		8 柱の配筋	(表2)(表2.1) 柱主筋の継手、定着及び余長 ・ 各部配筋参考図2.1による かぶり厚さ ( ) ・ 図示 帯筋組立の形及び割付け ・ 各部配筋参考図2.2による 帯筋組立の形 ( ) 帯筋の間隔(mm) ( ) ・ 図示 柱の打増し補強 ・ 各部配筋参考図2.3による 軸方向の補強筋本数 打増し幅 ・ 図示
		9 梁の配筋	(表3)(表3.1～3.4) 大梁主筋の継手、定着及び余長 ・ 各部配筋参考図3.1による ハンチのある場合のハンチ部分の補強 ( ) ・ 図示 あばら筋(小梁、片持ち梁、基礎梁含む)の組立の形及び割付け等 ・ 各部配筋参考図3.2による あばら筋組立の形 ( ) ・ 図示 梁の打増し補強 ・ 各部配筋参考図3.3による 軸方向の補強筋本数 ( ) 打増し幅 ( ) ・ 図示 小梁主筋の継手、定着及び余長 (表3.4)(表3.11)(表3.12) ・ 図示 片持ち梁主筋の継手、定着及び余長 (表3.5)(表3.13)(表3.14) ・ 図示
		10 壁及びその他の配筋	(表4)(表4.1)(表4.2) 壁の基準配筋 ・ 各部配筋参考図表4.1による 配筋の種類 ( ) 壁の厚さ ( ) ・ 図示 壁の継手及び定着 (表4.2)(表4.1) ・ 各部配筋参考図4.2による 壁筋の間隔 ( ) ・ 図示 壁の交差部及び端部の配筋 ・ 各部配筋参考図4.3による ・ 図示 壁の開口部補強 ・ 各部配筋参考図4.4による A形 ・ B形 ・ 図示 壁の打増し補強 (表4.5)(表4.4) ・ 各部配筋参考図4.5による 縦筋及び横筋の間隔 ( ) 打増し幅 ( ) ・ 図示 パレットの配筋 (表4.6)(表4.5) ・ 各部配筋参考図4.6による 縦筋及び横筋の間隔 ( ) コンクリートの厚さ(mm) ( ) ・ 図示
		11 スラブの配筋	(表5)(表5.1)(表5.1) スラブの基準配筋 ・ 各部配筋参考図5.1による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) ・ 図示 スラブ筋の定着及び受け筋 ・ 各部配筋参考図5.2による ・ 図示 片持ちスラブの基準配筋 ・ 各部配筋参考図5.3による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) ・ 図示 片持ちスラブの先端に壁が付く場合の配筋 ・ 各部配筋参考図5.4による ・ 図示 スラブ開口部補強 ・ 各部配筋参考図5.5による ・ 図示 出隅部及び入隅部の補強配筋 ・ 各部配筋参考図5.6による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) 鉄筋の間隔(mm)又は本数 ( ) ・ 図示 スラブの打増し補強等 ・ 各部配筋参考図5.7による ・ 図示 段差のあるスラブの補強配筋 ・ 各部配筋参考図5.8による ・ 図示
		12 階段の配筋	(表6)(表6.1)(表6.1) 片持ちスラブ形階段の基準配筋 ・ 各部配筋参考図6.1による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) ・ 図示 二辺固定スラブ形階段の基準配筋 ・ 各部配筋参考図6.2による 配筋種類 ( ) スラブ厚さ(mm) ( ) ・ 図示
		13 梁貫通孔及びその他の配筋	(表7)(表7.1)(表7.2) 梁貫通孔の配筋 ・ 各部配筋参考図7.1による ・ 図示 梁貫通孔の補強形式 ・ 各部配筋参考図7.2による 配筋種類 ( ) ・ 図示 コンクリートブロック壁との取合い ・ 各部配筋参考図7.3による ・ 図示
		1 1 コンクリートの種類及び強度	(表6.2)(表6.2.2) ・ 普通コンクリート 設計基準強度F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) 適用範囲 ・ 2.4 躯体 ・ 2.1 土間カーナ・外構工作物 ・ 1.8 捨てカーナ

6	コンクリート工事 (※構造図による)	1 レディミキストコンクリートの種類	(表6.2)(表6.2.2) ・ 軽量コンクリート 設計基準強度F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) 適用範囲 ・ 2.1 ・ 1.8 構造体強度補正値 ※ 標準仕様書6.3.2による (表6.3.2) ※ I類 ・ II類 (表6.2.1) 荷卸し地点におけるスラップ値 (表6.2.4)(表6.2.2) 打込み箇所 スラップ(cm) 基礎、基礎梁、土間スラブ ※15又は18 柱、梁、スラブ、壁 ※18 外構施工物 ※15
		2 セメント	(表6.3.1) セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 適用箇所 ( ) ・ ファイアッシュセメントB種 適用箇所 ( ) ・ 普通エコセメント
		3 骨材	(表6.3.1) 種類及び品質 種類 ・ 砂利及び砂 ※A ・ B ・ 砕石 ※A ・ B ・ 砕砂 ※A ・ B ・ 7C以下の骨材 ※A ・ B ・ 入スラブ骨材 ※A ・ B ・ 電気炉融化石骨材 ※A ・ B ・ 再生骨材H ※A ・ B
		4 水和材料	(表6.3.1) 水和材料の種類 ・ 水和剤 ※ 標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・ 水和材 ※ 標準仕様書6.3.1(4)(b)による 水和材料の使用量 ※ 標準仕様書6.3.2(4)による
		5 軽量コンクリート	(表6.10)(表6.10.2)(表6.10.1) 種類 所要気乾単位容積質量(γ/m <sup>3</sup> ) 適用箇所 スラップ ・ I類 ※18～21 ・ 2類 ※14～18
		6 専中コンクリート	適用箇所 ・ 図示(図面番号) (表6.2.1) 専中コンクリートの適用範囲 (表6.11.1)
		7 マスコンクリート	適用箇所 ・ 図示(図面番号) (表6.13.1) セメントの種類 ・ 中熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ ファイアッシュセメントB種 ・ 普通ポルトランドセメント
		8 無筋コンクリート	(表6.13.2) 水和材料 ・ 水和剤 水和剤の種類 ※ 標準仕様書6.13.2(2)(a)による ・ 水和材 水和材の種類 ※ 標準仕様書6.13.2(2)(b)による スラップ(cm) ※15
		9 11 流動コンクリート	(表6.15.1) 適用箇所 ・ 図示(図面番号)
		10 12 打増しの位置、打増し目地及びひび割れ誘発目地	(表6.6.4) 打増しの位置 ※ 標準仕様書6.6.4(1)による ・ 図示による ( ) 打増し目地の寸法 ・ 標準仕様書9.7.3(a)(1)による ひび割れ誘発目地 位置 ※ 図示(図面番号) 形状及び寸法 ・ 標準仕様書9.7.3(a)(1)による
		11 13 骨中コンクリート	(表6.12.2) 構造体強度補正値(S) ※ 6N/mm <sup>2</sup>
		12 14 構造体コンクリートの仕上げ	(表6.2.5)(表6.2.4) 打放し仕上げの種類 A種 ・ B種 ・ C種 (表6.2.4) コンクリート仕上の平たんさ A種 ・ B種 ・ C種 (表6.2.5) 外部に面するコンクリートの打放し仕上げ(仕上塗料、塗装等の仕上げを行う場合を含む)の打増し厚さ(mm) ・ 20
		13 15 せき板の材料	(表6.8.2) ※ 合板せき板 種類 せき板の規格 厚さ(mm) 打放し A種 ※ 標準仕様書6.8.3(b)(1) ・ ※ 1.2 B種、C種 ※ 標準仕様書6.8.3(b)(2) ・ ※ 1.2 上記以外 ※ 標準仕様書6.8.3(b)(2) ・ ※ 1.2 ・ 断熱材を敷用した型枠材 ※ 使用する 適用箇所 ( )

7	鉄骨工事 (※構造図による)	16 単位水量測定	(表6.8.2) ・ MCR工法用シート ※ 使用する ( ) スリーブ(配管用等)の材質及び規格等 (表6.8.2)(表6.8.1) ・ 図示による ( ) 単位水量の測定及び頻度は次の(1)～(4)による。 ただし、1日あたりのコンクリート種別ごとの使用量が100m <sup>3</sup> 以上の場合に適用する。 (1)コンクリート打設(コンクリート種別ごと)を午前中から午後にかけて場合は、2回/日(午前1回、午後1回)。 午前または午後のみ行う場合は、1回/日とする。 (2)1日あたりコンクリート種別ごとの使用量が100m <sup>3</sup> を超える場合は、100m <sup>3</sup> ごとに1回とする。 (3)荷卸し時に品質の変化が認められたとき。 (4)(1)～(3)のうち、測定回数が多い方を採用する。
		1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ・ 指定性能評価機関による認定を受けた工場(・Sグレード ・Hグレード以上 ・Mグレード以上 ・Rグレード以上 ・Jグレード以上)
		2 施工管理技術者	施工管理技術者の適用 ※ 適用する
		3 鋼材	鋼材の材質、形状、寸法及び使用箇所 ※ 図示(図面番号)
		4 高力ボルト	高力ボルトの種類 ・ トルプ形高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの)(XS10T) ・ JIS形高力ボルト(JIS B 1186)(XF10T) ・ 形数並列めっき高力ボルト(建築基準法に基づき認定を受けたもの)(XF8T相当) 高力ボルトの径 ※ 図示(図面番号)
		5 普通ボルト	ボルト及びナットの材質 ※ 標準仕様書表7.2.3による 普通ボルトの径 ※ 図示(図面番号) 母皿又は鋼線鉄の取付けに使用するボルトの孔径 ※ ねじの呼び径+1.0mm
		6 アンカーボルト	構造用アンカーボルトの種類(材質はJIS B 1220) ・ 建方用アンカーボルトの種類(材質はJIS G 3101) ・ アンカーボルト及びナットのねじの種類と規格等 ※ 標準仕様書表7.2.3による
		7 溶接材料	※ 標準仕様書7.2.5(a)又は(b)による ・ 図示(図面番号)
		8 ターンバックル	鋼の材質 ※ 別添式 ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ねじの呼び ※ 図示(図面番号)
		9 チェキプレートの材質、形状及び寸法	・ チェキプレート単独の構造 ※ 図示(図面番号) ・ チェキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構造 ※ 図示(図面番号)
		10 柱底均しモルタル	モルタルの種類 ・ 無収縮モルタル 無収縮モルタルの材質、割合等 ・ 標準仕様書7.2.9(b)～(4)による ・ 標準仕様書7.2.9(a)によるモルタル
		11 工作面	高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの締結距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 国土交通省大臣官庁官制部監修「建築鉄骨設計基準」による
		12 仮組	※ 実施する(部位)
		13 摩損面の性能及び処理	高力ボルト接合における摩損面のすべり係数試験 ・ 実施する 試験の実施範囲 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合の摩損面 試験の方法 ※ 監督職員が承諾する方法
		14 検査付加試験	・ 行う ( )
15 材料準備	開先の形状等		







13 屋根及び とい 工事	2 折板葺	新葺の区分 (13.3.2)(表132.1)	形式による区分 ※重ね形又ははげ締め形 ○キャップ形
		山高(mm) 山ピッチ(mm) 耐力(N/m) 材料による区分 厚さ(mm) 軒先戸葺 ○適用する (13.3.2)	○200 ○500 ○1 - 2 - 3 - 4 - 5 ※鋼板葺(○カワ-ガルバリウム鋼板) ※アルミニウム合金板葺(○) ○上0.8+0.6
	3 粘土瓦葺	瓦葺木 (13.4.2)	材種 寸法(幅mm×高さmm) ※砂・ひのき ※21×15
		繊維強化心材 (13.4.2)	材種 寸法(幅mm×高さmm) ※砂・ひのき ※40×30
4 とい	JIS A 5208に基づく凍害試験等 (13.4.2)	行う 行わない	
	下葺材等 (13.4.2)(表132.2)	アスファルトルーフィング940 改質アスファルトルーフィング下葺材 (○一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ) 繊維等を使用する金物等 材質、形状、寸法及び留付方法 ※図示 ( ) 葺の工法 ※図示 (図面番号) (13.4.3) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 (13.3.3) 適用する ※図示 (図面番号) (13.5.2)(表135.1)	
14 金属 工事	1 あと施工アンカーの 引抜き耐力確認試験 (14.1.3)	※適用する (14.1.3)	設計引抜き耐力 (14.1.3)(1.2.2)
	2 ステンレスの 表面仕上げ (14.2.1)	種類 ※HL程度	施工箇所(手すり、クワップ、建具以外)
	3 カビ防止及び塩 化合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)	種類 ※HL程度	施工箇所(成層板、笠木、建具以外)
	4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)	陽極酸化皮膜の着色方法 (14.2.2)	※二次電解着色 ※三次電解着色 色合 ※監督職員の指示による
		表面処理方法 (14.2.3)(表14.2.2)	種類 ※A種 ※B種 ※C種 ※D種 ※E種 ※F種
	5 軽鉄骨天井下地 (14.4.2)(表14.4.1)	野縁等の種類 (14.4.3)	屋外 ※19形 ※25形 屋内 ※19形 ※25形
6 軽鉄骨天井下地 (14.5.3)(表14.5.1)	屋外の野縁受、吊りボルト及びピンサートの間隔 (14.4.3)	※図示 (図面番号) ※900以下	
	屋外の野縁の間隔 (14.4.3)	※図示 (図面番号)	
7 軽鉄骨天井下地 (14.4.4)	吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 (14.4.4)	※図示 (図面番号)	
	天井の横が1.5m以上3.0m以下の場合の補強 (14.4.4)	※図示 (図面番号) ※標準仕様書による	
8 軽鉄骨天井下地 (14.4.4)	天井の横が3.0mを超える場合の補強 (14.4.4)	※図示 (図面番号)	
	耐震性を考慮した補強 (14.4.4)	※図示 (図面番号)	
9 軽鉄骨天井下地 (14.4.4)	屋外の軒天井、ピロティ天井等の耐風圧性を考慮した補強 (14.4.4)	※図示 (図面番号)	
	スタッフ、フナナーの種類 (14.5.3)(表14.5.1)	※標準仕様書表14.5.1による	
10 軽鉄骨天井下地 (14.5.3)(表14.5.1)	スタッフの高さが5mを超える場合 (14.5.3)(表14.5.1)	※図示 (図面番号)	
	※図示 (図面番号)		

7 金属成層板張り (14.6.2)(表14.2.1)	種類	形状	寸法(mm)	表面処理
	アルミニウム	・スパンドレル形 ・パネル形	板厚 板幅	
8 アルミニウム製建具	取付け用下地 (14.6.3)	※標準仕様書14.2.4部による ※図示 (図面番号)		
	伸縮調整金具 (14.6.3)	※図示 (図面番号)		
9 手すり及びクワップ (14.7.2)(表14.7.1)(表14.2.1)	種類	表面処理の種類		
	・250形 ・300形 ・350形	・ ・ ・		
15 左官 工事	1 既製目地材 (15.3.2)	※適用する(形状) ( )		
	2 モルタル塗り (15.3.2)	モルタル	※現場調合材料 ( )	
3 床コンクリート 直均し仕上げ (15.4.1)	床の目地	※目地割り ※2m程度 (最大目地間隔3m程度) (種類 ※押し目地 ( ))		
	塗料、塗料、張物等の下地への適用 (15.4.1)	※適用する(適用範囲) ( )		
4 セルフレベリング 材塗り (15.5.2)(表15.1)	施工箇所	種類		
	※床スラブ	・せっこう系 ・セメント系		
5 仕上塗材仕上げ (15.6.2)(表15.6.1)	種類	仕上げの形状、工法		
	種類	呼び名	仕上げの形状	工法
6 マスチック塗材塗り (15.7.2)	種類	呼び名	仕上げの形状	工法
	種類	呼び名	仕上げの形状	工法
7 ロックウール吹付け (15.12.3)	吹付け厚さ(mm)	※図示 ※25		
	種類	呼び名	仕上げの形状	工法
8 しっくい塗り (15.10.2)	種類	呼び名	仕上げの形状	工法
	種類	呼び名	仕上げの形状	工法
9 こまい壁塗り (15.11.2,3,4,5,7,8)	種類	呼び名	仕上げの形状	工法
	種類	呼び名	仕上げの形状	工法

16 建具 工事	1 防火戸 (16.1.3)	防火戸(建築基準法第2条第9号の2の規定に基づき定められたもの又は認定を受けたものをいう。以下同じ。)の指定 ※図示 (図面番号) 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸をヒューズ装置、熱感知装置又は煙感知装置と連動させる場合 ※図示 (図面番号)		
	2 見本の製作等 (16.1.4)	建具見本の製作 ※行う(建具番号) ( ) 特殊な建具の仮組 ※行う(建具番号) ( )		
3 断熱断物部品 (16.1.6)	種類	呼び名	仕上げの形状	工法
	種類	呼び名	仕上げの形状	工法

16 建具 工事	4 アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)	アルミニウム製建具の性能値 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
	5 樹脂製建具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)	樹脂製建具の性能値 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
6 鋼製建具 (16.3.3)	鋼製建具の性能値 (16.3.3)	鋼製建具の性能値 (16.3.3)
	7 鋼製経巻建具 (16.5.2)	鋼製経巻建具の性能値 (16.5.2)



章	項目	特記事項																																																					
21	1 排水管	<p>排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> <th>基礎の厚さ及び埋深(m)</th> </tr> <tr> <td>・連心力床筋 カガク管</td> <td>外圧管(U種)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○硬質塩化ビニル管</td> <td>○VP ・RS-VU</td> <td></td> <td>○図示</td> <td>○100</td> </tr> <tr> <td>・硬質塩化ビニル管 手</td> <td>・DV ・VU</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>排水用硬質塩化ビニル管継手 ※接着剤 ・ゴム輪 (21.2.2)</p>	種類	種類・記号	形状	呼び径	基礎の厚さ及び埋深(m)	・連心力床筋 カガク管	外圧管(U種)				○硬質塩化ビニル管	○VP ・RS-VU		○図示	○100	・硬質塩化ビニル管 手	・DV ・VU																																				
	種類	種類・記号	形状	呼び径	基礎の厚さ及び埋深(m)																																																		
	・連心力床筋 カガク管	外圧管(U種)																																																					
	○硬質塩化ビニル管	○VP ・RS-VU		○図示	○100																																																		
	・硬質塩化ビニル管 手	・DV ・VU																																																					
	2 側溝、排水溝等	<p>側溝 形状及び寸法 ・図示(図面番号) (21.2.1)</p> <p>排水溝 形状及び寸法 ・図示(図面番号) (21.2.1)</p> <p>マンホールふたの種類 ※図示(図面番号) (21.2.1)</p> <p>グレーチングの材質、用途、適用荷重、メインバーピッチ等 ※図示(図面番号) (21.2.1)</p>																																																					
	3 地盤の材料	凍上抑制層に用いる材料 ・砂の粒状試験 ・行う ・行わない (21.2.1)																																																					
4 コンクリート	種類 ※普通コンクリート ・設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> ) ※18 (21.2.1)																																																						
5 鉄筋	種類の記号 ※SD295A (21.2.1)																																																						
6 埋め戻し用材料	標準仕様書表3.2.1による種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (21.2.1)(表3.2.1)																																																						
7 砕石、砂、砂利	<p>砕石 (21.3.1)(表21.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>呼び</th> </tr> <tr> <td>7Hh無筋カガク製品</td> <td></td> <td>・A ・B ・C</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・片面歩車道境界ブロック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・両面歩車道境界ブロック</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・地先境界ブロック</td> </tr> </table> <p>L型側溝 (21.3.1)(表21.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>呼び</th> </tr> <tr> <td>・7Hh無筋カガク製品</td> <td></td> <td>・250A ・250B</td> </tr> <tr> <td>・7Hh鉄筋カガク製品</td> <td></td> <td>・1種 ・250A ・250B ・300 ・350</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・2種 ・500A ・500B ・500C</td> </tr> </table> <p>U型側溝 (21.3.1)(表21.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>呼び</th> </tr> <tr> <td>7Hh鉄筋カガク製品</td> <td></td> <td>・1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・2種</td> </tr> </table> <p>U型側溝ふた (21.3.1)(表21.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>呼び</th> </tr> <tr> <td>7Hh鉄筋カガク製品</td> <td></td> <td>・1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・150 ・180 ・240</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・300 ・360 ・450</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・600</td> </tr> </table> <p>砂利地盤の厚さ(mm) ※100 (21.3.1)</p>	規格名称	種類	呼び	7Hh無筋カガク製品		・A ・B ・C			・片面歩車道境界ブロック			・両面歩車道境界ブロック			・地先境界ブロック	規格名称	種類	呼び	・7Hh無筋カガク製品		・250A ・250B	・7Hh鉄筋カガク製品		・1種 ・250A ・250B ・300 ・350			・2種 ・500A ・500B ・500C	規格名称	種類	呼び	7Hh鉄筋カガク製品		・1種			・2種	規格名称	種類	呼び	7Hh鉄筋カガク製品		・1種			・2種			・150 ・180 ・240			・300 ・360 ・450			・600
規格名称	種類	呼び																																																					
7Hh無筋カガク製品		・A ・B ・C																																																					
		・片面歩車道境界ブロック																																																					
		・両面歩車道境界ブロック																																																					
		・地先境界ブロック																																																					
規格名称	種類	呼び																																																					
・7Hh無筋カガク製品		・250A ・250B																																																					
・7Hh鉄筋カガク製品		・1種 ・250A ・250B ・300 ・350																																																					
		・2種 ・500A ・500B ・500C																																																					
規格名称	種類	呼び																																																					
7Hh鉄筋カガク製品		・1種																																																					
		・2種																																																					
規格名称	種類	呼び																																																					
7Hh鉄筋カガク製品		・1種																																																					
		・2種																																																					
		・150 ・180 ・240																																																					
		・300 ・360 ・450																																																					
		・600																																																					
22	1 路床	<p>遮断層 設ける (22.2.2)(22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材料</th> <th>品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>凍上抑制層 設ける (22.2.2)(22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>透水性舗装のフィルター層の厚さ(mm) (22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>路床安定処理 行う (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>方法</th> <th>品質</th> </tr> <tr> <td>※添加材料による安定処理</td> <td>厚さ(mm) ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自働CBR ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>添加材料 ・普通ポルトランドセメント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高炉セメントB種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・フライアッシュセメントB種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・生石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・生石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・消石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・消石灰1号</td> </tr> </table> <p>アクリルによる安定処理 (22.2.3)(表3.2.1)</p> <p>標準仕様書表3.2.1による種別による(・A種 ・B種 ・C種 ・D種) (22.2.3)</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う (22.2.5)</p> <p>路床締め度試験 ・行う (22.2.5)</p> <p>砂の粒状試験 ・行う (22.2.3)</p> <p>発生土の処理 ※横外搬出適切処理 (22.2.4)</p>	厚さ(mm)	材料	品質				厚さ(mm)	材料			車道部	歩道部			方法	品質	※添加材料による安定処理	厚さ(mm) ・		自働CBR ・		添加材料 ・普通ポルトランドセメント		・高炉セメントB種		・フライアッシュセメントB種		・生石灰1号		・生石灰1号		・消石灰1号		・消石灰1号																			
	厚さ(mm)	材料	品質																																																				
	厚さ(mm)	材料																																																					
	車道部	歩道部																																																					
	方法	品質																																																					
	※添加材料による安定処理	厚さ(mm) ・																																																					
		自働CBR ・																																																					
	添加材料 ・普通ポルトランドセメント																																																						
	・高炉セメントB種																																																						
	・フライアッシュセメントB種																																																						
	・生石灰1号																																																						
	・生石灰1号																																																						
	・消石灰1号																																																						
	・消石灰1号																																																						
2 路盤	<p>舗装の種類と路盤の厚さ (22.3.2)(表22.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="2">路盤の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td>・アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・350</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・カー舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート舗装</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・透水性アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・排水性アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・のり(のり)舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・転圧コンクリート舗装</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート平版舗装</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・積石舗装</td> <td></td> <td>50</td> </tr> </table> <p>路盤材料 (22.3.3)(表22.3.3)</p> <p>※砕石及び再生材のクワツツラン又はクワツツラン鉄鋼スプツ</p> <p>路盤の締め度試験 ※行う ・行わない (22.3.5)</p>	舗装の種類	路盤の厚さ(mm)		車道部	歩道部	・アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・350	100	・カー舗装	・100 ・150 ・250 ・350		・コンクリート舗装	150		・透水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・排水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・のり(のり)舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・転圧コンクリート舗装	150		・コンクリート平版舗装		100	・積石舗装		50																						
舗装の種類	路盤の厚さ(mm)																																																						
	車道部	歩道部																																																					
・アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・350	100																																																					
・カー舗装	・100 ・150 ・250 ・350																																																						
・コンクリート舗装	150																																																						
・透水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																																					
・排水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																																					
・のり(のり)舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																																					
・転圧コンクリート舗装	150																																																						
・コンクリート平版舗装		100																																																					
・積石舗装		50																																																					
3 アスファルト舗装	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2)</p> <p>※図示</p> <p>車道部の基礎の適用 ・適用する (22.4.2)</p> <p>舗装の平坦性 (22.4.2)</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>再生アスファルトの種類 (22.4.4)(表22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>表層</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>・密着度アスファルト混合物</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>・密着度アスファルト混合物</td> <td>13F</td> </tr> <tr> <td>・密着度アスファルト混合物</td> <td>20</td> </tr> </table> <p>基礎 (22.4.3)</p> <p>ソールコート用乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 (22.4.3)</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う (22.4.6)</p>	表層	厚さ	・密着度アスファルト混合物	13	・密着度アスファルト混合物	13F	・密着度アスファルト混合物	20																																														
表層	厚さ																																																						
・密着度アスファルト混合物	13																																																						
・密着度アスファルト混合物	13F																																																						
・密着度アスファルト混合物	20																																																						
4 コンクリート舗装	<p>コンクリート舗装等の構成及び厚さ (22.5.2)(22.5.3)(表22.5.1)(表22.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="2">舗装の厚さ(mm)</th> <th rowspan="2">コンクリート</th> </tr> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート舗装</td> <td>・150</td> <td>・70</td> <td>※標準仕様書表22.5.1による</td> </tr> </table> <p>寒冷地での設け方 (22.5.2)</p> <p>舗装の平坦性 (22.5.2)</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>早強ポルトランドセメント ・使用する (22.5.3)</p> <p>注入目地材料の種類 (22.5.3)(表22.5.2)</p> <p>※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p>	舗装の種類	舗装の厚さ(mm)		コンクリート	車道部	歩道部	・コンクリート舗装	・150	・70	※標準仕様書表22.5.1による																																												
舗装の種類	舗装の厚さ(mm)		コンクリート																																																				
	車道部	歩道部																																																					
・コンクリート舗装	・150	・70	※標準仕様書表22.5.1による																																																				
5 カー舗装	<p>・加熱系カー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)</p> <p>構成及び厚さ ・図示</p> <p>加熱系混合物の結合材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスファルト混合物</li> <li>・石油樹脂系混合物 原料の添加量(%)</li> </ul> <p>着色骨材 ( )</p> <p>自然石 ( )</p> <p>・常温系カー舗装</p> <p>工法 ・ニート工法 ・塗布工法</p> <p>着色剤の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>舗装の平坦性 (22.6.2)(22.4.2)</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>加熱系混合物に使用する材料 (22.6.3)</p> <p>添加する着色骨材又は自然石</p> <p>加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の原料の添加量 (22.6.4)</p> <p>樹脂系混合物 ・ニート工法及び塗布工法の配合その他 (22.6.4)</p> <p>加熱系混合物の抽出試験 ・行う (22.6.6)(22.4.6)</p>																																																						
6 透水性アスファルト舗装	<p>舗装の平坦性 (22.7.2)</p> <p>※着しい不陸がないこと</p> <p>アスファルト (22.7.3)</p> <p>※Aレートアスファルト</p> <p>ソールコート ・行う (22.7.5)(22.4.5)</p> <p>透水性アスファルト混合物の抽出試験 ・行う (22.7.6)</p>																																																						
7 ブロック系舗装	<p>仕上り面の平坦性 (22.8.2)</p> <p>※歩行に支障となる段差のないものとし、段差は3mm以内</p> <p>・コンクリート平版舗装 (22.8.2)(22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>・普通平版(N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td>・透水平版(P)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> <tr> <td>・保水性平版(H)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>詰め強度</th> <th>形状、寸法</th> <th>表面加工</th> </tr> <tr> <td>※普通70mm</td> <td>※5N/mm<sup>2</sup></td> <td>※図示(図面番号)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・透水性70mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保水性70mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・積石舗装 (22.8.2)(22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法、形状</th> <th>積石の基礎</th> <th>基礎の厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>・50cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・コンクリート版</td> <td>・70cm</td> </tr> </table> <p>クッション材 (22.8.3)</p> <p>※砂 ・空溜りモルタル</p>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	・普通平版(N)	・300角	※60	※砂	・透水平版(P)			・モルタル	・保水性平版(H)				種類	詰め強度	形状、寸法	表面加工	※普通70mm	※5N/mm <sup>2</sup>	※図示(図面番号)		・透水性70mm				・保水性70mm				種類	寸法、形状	積石の基礎	基礎の厚さ			・アスファルト混合物	・50cm			・コンクリート版	・70cm										
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																				
・普通平版(N)	・300角	※60	※砂																																																				
・透水平版(P)			・モルタル																																																				
・保水性平版(H)																																																							
種類	詰め強度	形状、寸法	表面加工																																																				
※普通70mm	※5N/mm <sup>2</sup>	※図示(図面番号)																																																					
・透水性70mm																																																							
・保水性70mm																																																							
種類	寸法、形状	積石の基礎	基礎の厚さ																																																				
		・アスファルト混合物	・50cm																																																				
		・コンクリート版	・70cm																																																				
8 砂利敷き	<p>種類 (22.9.2)(表22.9.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>※A種</th> <th>・B種</th> </tr> <tr> <td>道路</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物周囲その他</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> </table>	種類	※A種	・B種	道路			建物周囲その他	・A種	・B種																																													
種類	※A種	・B種																																																					
道路																																																							
建物周囲その他	・A種	・B種																																																					

23	植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	<p>土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 ・行う (23.1.3)</p> <p>電気伝導度の試験 ・行う (23.1.3)</p> <p>腐植含有量の試験 ・行う (23.1.3)</p>																																												
		2 植栽基礎整備工法	<p>(23.2.2)</p> <p>(表23.2.1)</p> <p>(23.2.2)</p> <p>有効土層として整備する面積及び厚さ</p> <p>※標準仕様書表23.2.1による</p> <p>排水工法 (23.2.2)</p> <p>・暗きよ ・開きよ ・排水層 ・底穴排水</p> <p>植栽基礎整備工法の種類 (23.2.2)(表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>・樹木</th> <th>※A種</th> <th>・B種</th> <th>・C種</th> <th>・D種</th> </tr> <tr> <th>・芝及び地被類</th> <th>・A種</th> <th>・B種</th> <th>・C種</th> <th>・D種</th> </tr> </table> <p>・土壌改良材 (23.2.2)(23.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕様</th> </tr> <tr> <td>・パーク地肥</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・下水汚泥コンポスト</td> <td></td> </tr> </table> <p>発生土の処理 (23.2.4)</p> <p>※横外搬出適切処理</p> <p>樹木 (23.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>株立数</th> <th>刈込みもの適用</th> <th>数量</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>新植樹木の結核期間 (23.3.4)</p> <p>※引渡しの日から1年</p> <p>移植樹木の結核期間を行う期間 (23.3.6)</p> <p>※引渡しの日から1年</p>	・樹木	※A種	・B種	・C種	・D種	・芝及び地被類	・A種	・B種	・C種	・D種	種類	仕様	・パーク地肥		・下水汚泥コンポスト		種類	寸法	株立数	刈込みもの適用	数量																							
		・樹木	※A種	・B種	・C種	・D種																																									
		・芝及び地被類	・A種	・B種	・C種	・D種																																									
		種類	仕様																																												
		・パーク地肥																																													
		・下水汚泥コンポスト																																													
		種類	寸法	株立数	刈込みもの適用	数量																																									
		3 植栽	<p>(23.3.2)</p> <p>新植樹木の結核期間 (23.3.4)</p> <p>※引渡しの日から1年</p> <p>移植樹木の結核期間を行う期間 (23.3.6)</p> <p>※引渡しの日から1年</p>																																												
4 支柱材	<p>(23.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>支柱材</th> <th>防腐処理方法</th> </tr> <tr> <td>※丸太</td> <td>※加圧防腐処理</td> </tr> <tr> <td>・実竹</td> <td></td> </tr> </table> <p>幹巻き用材料 (23.3.2)</p> <p>※幹巻き用テープ ・わら及びこも</p> <p>支柱形式 (23.3.3)</p> <p>・挿入柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形 ・布掛け形</p> <p>・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形</p>	支柱材	防腐処理方法	※丸太	※加圧防腐処理	・実竹																																									
支柱材	防腐処理方法																																														
※丸太	※加圧防腐処理																																														
・実竹																																															
5 芝張り、吹き付けは覆及び地被類	<p>芝の種類 ※コウライシバの種類 ・ノシバの種類 (23.4.2)</p> <p>芝張りの工法 (23.4.3)</p> <p>平地 ※目地張り ・べた張り</p> <p>法面 ・目地張り ※べた張り</p> <p>吹付けは覆用種子等の種子 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種子の種類</th> <th>量</th> </tr> <tr> <td>※洋芝類(発芽率90%)</td> <td></td> </tr> </table> <p>地被類 (23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>株立数</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>移植した芝及び地被類の処理 (23.4.7)(23.3.4)</p> <p>※引渡しの日から1年</p> <p>屋上緑化システム (23.5.2)(23.5.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>土壌層の厚さ</th> <th>緑地用土</th> </tr> <tr> <td>・15cm ・30cm</td> <td>・人工軽量土 ※改良土</td> </tr> </table> <p>屋上緑化システムの排水層</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>層の厚さ</th> </tr> <tr> <td>・軽量骨材</td> <td>・火山砂利 ・黒曜石パーライト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・脚張性頁岩</td> </tr> <tr> <td>・透水管</td> <td>・合成樹脂系 ・黒曜石パーライト詰め</td> </tr> <tr> <td>・板状成形品</td> <td></td> </tr> </table> <p>(23.5.3)(23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種又は種類</th> <th>寸法</th> <th>株立数</th> <th>刈込みもの</th> <th>数量</th> </tr> <tr> <td>樹木</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>芝</td> <td>※70kgの類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ノシバの類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>地被類 (23.5.3)</p> <p>見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等</p> <p>※図示(図面番号)</p> <p>「屋根ふき材及び屋外に面する構造の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」による風圧力に耐した固定方法 (23.5.4)</p> <p>・適用する (23.5.4)</p> <p>支柱 ・設置する (23.5.4)</p> <p>形式 ・抵抗板設置固定法</p> <p>かん水装置 ・設置する 種類( ) (23.5.4)</p> <p>新植樹木、芝及び地被類の結核期間 (23.5.5)(23.3.4)(23.4.7)</p> <p>※引渡しの日から1年</p>	種子の種類	量	※洋芝類(発芽率90%)		種類	株立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数					土壌層の厚さ	緑地用土	・15cm ・30cm	・人工軽量土 ※改良土	種類	層の厚さ	・軽量骨材	・火山砂利 ・黒曜石パーライト		・脚張性頁岩	・透水管	・合成樹脂系 ・黒曜石パーライト詰め	・板状成形品		樹種又は種類	寸法	株立数	刈込みもの	数量	樹木					芝	※70kgの類					・ノシバの類			
種子の種類	量																																														
※洋芝類(発芽率90%)																																															
種類	株立数	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数																																												
土壌層の厚さ	緑地用土																																														
・15cm ・30cm	・人工軽量土 ※改良土																																														
種類	層の厚さ																																														
・軽量骨材	・火山砂利 ・黒曜石パーライト																																														
	・脚張性頁岩																																														
・透水管	・合成樹脂系 ・黒曜石パーライト詰め																																														
・板状成形品																																															
樹種又は種類	寸法	株立数	刈込みもの	数量																																											
樹木																																															
芝	※70kgの類																																														
	・ノシバの類																																														
6 屋上緑化	<p>(23.5.2)(23.5.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>土壌層の厚さ</th> <th>緑地用土</th> </tr> <tr> <td>・15cm ・30cm</td> <td>・人工軽量土 ※改良土</td> </tr> </table> <p>屋上緑化システムの排水層</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>層の厚さ</th> </tr> <tr> <td>・軽量骨材</td> <td>・火山砂利 ・黒曜石パーライト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・脚張性頁岩</td> </tr> <tr> <td>・透水管</td> <td>・合成樹脂系 ・黒曜石パーライト詰め</td> </tr> <tr> <td>・板状成形品</td> <td></td> </tr> </table> <p>(23.5.3)(23.4.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種又は種類</th> <th>寸法</th> <th>株立数</th> <th>刈込みもの</th> <th>数量</th> </tr> <tr> <td>樹木</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>芝</td> <td>※70kgの類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ノシバの類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>地被類 (23.5.3)</p> <p>見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等</p> <p>※図示(図面番号)</p> <p>「屋根ふき材及び屋外に面する構造の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」による風圧力に耐した固定方法 (23.5.4)</p> <p>・適用する (23.5.4)</p> <p>支柱 ・設置する (23.5.4)</p> <p>形式 ・抵抗板設置固定法</p> <p>かん水装置 ・設置する 種類( ) (23.5.4)</p> <p>新植樹木、芝及び地被類の結核期間 (23.5.5)(23.3.4)(23.4.7)</p> <p>※引渡しの日から1年</p>	土壌層の厚さ	緑地用土	・15cm ・30cm	・人工軽量土 ※改良土	種類	層の厚さ	・軽量骨材	・火山砂利 ・黒曜石パーライト		・脚張性頁岩	・透水管	・合成樹脂系 ・黒曜石パーライト詰め	・板状成形品		樹種又は種類	寸法	株立数	刈込みもの	数量	樹木					芝	※70kgの類					・ノシバの類															
土壌層の厚さ	緑地用土																																														
・15cm ・30cm	・人工軽量土 ※改良土																																														
種類	層の厚さ																																														
・軽量骨材	・火山砂利 ・黒曜石パーライト																																														
	・脚張性頁岩																																														
・透水管	・合成樹脂系 ・黒曜石パーライト詰め																																														
・板状成形品																																															
樹種又は種類	寸法	株立数	刈込みもの	数量																																											
樹木																																															
芝	※70kgの類																																														
	・ノシバの類																																														

24	舗装工事	1 路床	<p>遮断層 設ける (22.2.2)(22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材料</th> <th>品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>凍上抑制層 設ける (22.2.2)(22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>透水性舗装のフィルター層の厚さ(mm) (22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>路床安定処理 行う (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>方法</th> <th>品質</th> </tr> <tr> <td>※添加材料による安定処理</td> <td>厚さ(mm) ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自働CBR ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>添加材料 ・普通ポルトランドセメント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高炉セメントB種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・フライアッシュセメントB種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・生石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・生石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・消石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・消石灰1号</td> </tr> </table> <p>アクリルによる安定処理 (22.2.3)(表3.2.1)</p> <p>標準仕様書表3.2.1による種別による(・A種 ・B種 ・C種 ・D種) (22.2.3)</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う (22.2.5)</p> <p>路床締め度試験 ・行う (22.2.5)</p> <p>砂の粒状試験 ・行う (22.2.3)</p> <p>発生土の処理 ※横外搬出適切処理 (22.2.4)</p>	厚さ(mm)	材料	品質				厚さ(mm)	材料			車道部	歩道部			方法	品質	※添加材料による安定処理	厚さ(mm) ・		自働CBR ・		添加材料 ・普通ポルトランドセメント		・高炉セメントB種		・フライアッシュセメントB種		・生石灰1号		・生石灰1号		・消石灰1号		・消石灰1号								
		厚さ(mm)	材料	品質																																									
		厚さ(mm)	材料																																										
		車道部	歩道部																																										
		方法	品質																																										
		※添加材料による安定処理	厚さ(mm) ・																																										
			自働CBR ・																																										
	添加材料 ・普通ポルトランドセメント																																												
	・高炉セメントB種																																												
	・フライアッシュセメントB種																																												
	・生石灰1号																																												
	・生石灰1号																																												
	・消石灰1号																																												
	・消石灰1号																																												
2 路盤	<p>舗装の種類と路盤の厚さ (22.3.2)(表22.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="2">路盤の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td>・アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・350</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・カー舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート舗装</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・透水性アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・排水性アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・のり(のり)舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・転圧コンクリート舗装</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート平版舗装</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・積石舗装</td> <td></td> <td>50</td> </tr> </table> <p>路盤材料 (22.3.3)(表22.3.3)</p> <p>※砕石及び再生材のクワツツラン又はクワツツラン鉄鋼スプツ</p> <p>路盤の締め度試験 ※行う ・行わない (22.3.5)</p>	舗装の種類	路盤の厚さ(mm)		車道部	歩道部	・アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・350	100	・カー舗装	・100 ・150 ・250 ・350		・コンクリート舗装	150		・透水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・排水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・のり(のり)舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・転圧コンクリート舗装	150		・コンクリート平版舗装		100	・積石舗装		50												
舗装の種類	路盤の厚さ(mm)																																												
	車道部	歩道部																																											
・アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・350	100																																											
・カー舗装	・100 ・150 ・250 ・350																																												
・コンクリート舗装	150																																												
・透水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																											
・排水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																											
・のり(のり)舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																											
・転圧コンクリート舗装	150																																												
・コンクリート平版舗装		100																																											
・積石舗装		50																																											
3 アスファルト舗装	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2)</p> <p>※図示</p> <p>車道部の基礎の適用 ・適用する (22.4.2)</p> <p>舗装の平坦性 (22.4.2)</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>再生アスファルトの種類 (22.4.4)(表22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>表層</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>・密着度アスファルト混合物</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>・密着度アスファルト混合物</td> <td>13F</td> </tr> <tr> <td>・密着度アスファルト混合物</td> <td>20</td> </tr> </table> <p>基礎 (22.4.3)</p> <p>ソールコート用乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 (22.4.3)</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う (22.4.6)</p>	表層	厚さ	・密着度アスファルト混合物	13	・密着度アスファルト混合物	13F	・密着度アスファルト混合物	20																																				
表層	厚さ																																												
・密着度アスファルト混合物	13																																												
・密着度アスファルト混合物	13F																																												
・密着度アスファルト混合物	20																																												
4 コンクリート舗装	<p>コンクリート舗装等の構成及び厚さ (22.5.2)(22.5.3)(表22.5.1)(表22.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="2">舗装の厚さ(mm)</th> <th rowspan="2">コンクリート</th> </tr> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート舗装</td> <td>・150</td> <td>・70</td> <td>※標準仕様書表22.5.1による</td> </tr> </table> <p>寒冷地での設け方 (22.5.2)</p> <p>舗装の平坦性 (22.5.2)</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>早強ポルトランドセメント ・使用する (22.5.3)</p> <p>注入目地材料の種類 (22.5.3)(表22.5.2)</p> <p>※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p>	舗装の種類	舗装の厚さ(mm)		コンクリート	車道部	歩道部	・コンクリート舗装	・150	・70	※標準仕様書表22.5.1による																																		
舗装の種類	舗装の厚さ(mm)		コンクリート																																										
	車道部	歩道部																																											
・コンクリート舗装	・150	・70	※標準仕様書表22.5.1による																																										
5 カー舗装	<p>・加熱系カー舗装 (22.6.2)(22.6.3)(22.6.4)</p> <p>構成及び厚さ ・図示</p> <p>加熱系混合物の結合材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスファルト混合物</li> <li>・石油樹脂系混合物 原料の添加量(%)</li> </ul> <p>着色骨材 ( )</p> <p>自然石 ( )</p> <p>・常温系カー舗装</p> <p>工法 ・ニート工法 ・塗布工法</p> <p>着色剤の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</p> <p>舗装の平坦性 (22.6.2)(22.4.2)</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>加熱系混合物に使用する材料 (22.6.3)</p> <p>添加する着色骨材又は自然石</p> <p>加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の原料の添加量 (22.6.4)</p> <p>樹脂系混合物 ・ニート工法及び塗布工法の配合その他 (22.6.4)</p> <p>加熱系混合物の抽出試験 ・行う (22.6.6)(22.4.6)</p>																																												
6 透水性アスファルト舗装	<p>舗装の平坦性 (22.7.2)</p> <p>※着しい不陸がないこと</p> <p>アスファルト (22.7.3)</p> <p>※Aレートアスファルト</p> <p>ソールコート ・行う (22.7.5)(22.4.5)</p> <p>透水性アスファルト混合物の抽出試験 ・行う (22.7.6)</p>																																												
7 ブロック系舗装	<p>仕上り面の平坦性 (22.8.2)</p> <p>※歩行に支障となる段差のないものとし、段差は3mm以内</p> <p>・コンクリート平版舗装 (22.8.2)(22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>・普通平版(N)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> </tr> <tr> <td>・透水平版(P)</td> <td></td> <td></td> <td>・モルタル</td> </tr> <tr> <td>・保水性平版(H)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・インターロッキングブロック舗装 (22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>詰め強度</th> <th>形状、寸法</th> <th>表面加工</th> </tr> <tr> <td>※普通70mm</td> <td>※5N/mm<sup>2</sup></td> <td>※図示(図面番号)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・透水性70mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保水性70mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・積石舗装 (22.8.2)(22.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法、形状</th> <th>積石の基礎</th> <th>基礎の厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>・50cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・コンクリート版</td> <td>・70cm</td> </tr> </table> <p>クッション材 (22.8.3)</p> <p>※砂 ・空溜りモルタル</p>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	・普通平版(N)	・300角	※60	※砂	・透水平版(P)			・モルタル	・保水性平版(H)				種類	詰め強度	形状、寸法	表面加工	※普通70mm	※5N/mm <sup>2</sup>	※図示(図面番号)		・透水性70mm				・保水性70mm				種類	寸法、形状	積石の基礎	基礎の厚さ			・アスファルト混合物	・50cm			・コンクリート版	・70cm
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																										
・普通平版(N)	・300角	※60	※砂																																										
・透水平版(P)			・モルタル																																										
・保水性平版(H)																																													
種類	詰め強度	形状、寸法	表面加工																																										
※普通70mm	※5N/mm <sup>2</sup>	※図示(図面番号)																																											
・透水性70mm																																													
・保水性70mm																																													
種類	寸法、形状	積石の基礎	基礎の厚さ																																										
		・アスファルト混合物	・50cm																																										
		・コンクリート版	・70cm																																										
8 砂利敷き	<p>種類 (22.9.2)(表22.9.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>※A種</th> <th>・B種</th> </tr> <tr> <td>道路</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物周囲その他</td> <td>・A種</td> <td>・B種</td> </tr> </table>	種類	※A種	・B種	道路			建物周囲その他	・A種	・B種																																			
種類	※A種	・B種																																											
道路																																													
建物周囲その他	・A種	・B種																																											

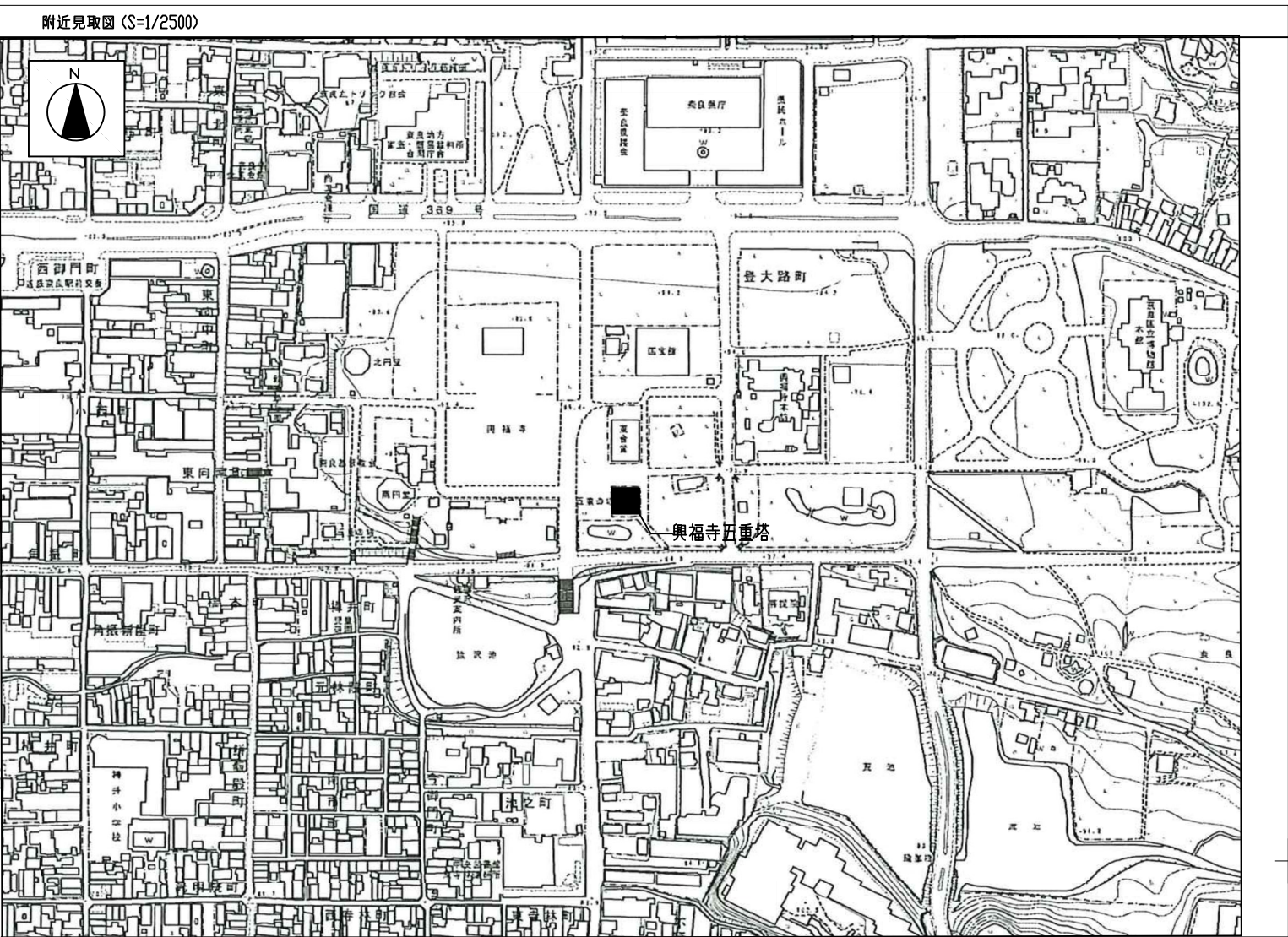
25	舗装工事	1 路床	<p>遮断層 設ける (22.2.2)(22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材料</th> <th>品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>凍上抑制層 設ける (22.2.2)(22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>透水性舗装のフィルター層の厚さ(mm) (22.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>路床安定処理 行う (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>方法</th> <th>品質</th> </tr> <tr> <td>※添加材料による安定処理</td> <td>厚さ(mm) ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自働CBR ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>添加材料 ・普通ポルトランドセメント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高炉セメントB種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・フライアッシュセメントB種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・生石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・生石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・消石灰1号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・消石灰1号</td> </tr> </table> <p>アクリルによる安定処理 (22.2.3)(表3.2.1)</p> <p>標準仕様書表3.2.1による種別による(・A種 ・B種 ・C種 ・D種) (22.2.3)</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う (22.2.5)</p> <p>路床締め度試験 ・行う (22.2.5)</p> <p>砂の粒状試験 ・行う (22.2.3)</p> <p>発生土の処理 ※横外搬出適切処理 (22.2.4)</p>	厚さ(mm)	材料	品質				厚さ(mm)	材料			車道部	歩道部			方法	品質	※添加材料による安定処理	厚さ(mm) ・		自働CBR ・		添加材料 ・普通ポルトランドセメント		・高炉セメントB種		・フライアッシュセメントB種		・生石灰1号		・生石灰1号		・消石灰1号		・消石灰1号
		厚さ(mm)	材料	品質																																	
		厚さ(mm)	材料																																		
		車道部	歩道部																																		
		方法	品質																																		
		※添加材料による安定処理	厚さ(mm) ・																																		
			自働CBR ・																																		
	添加材料 ・普通ポルトランドセメント																																				
	・高炉セメントB種																																				
	・フライアッシュセメントB種																																				
	・生石灰1号																																				
	・生石灰1号																																				
	・消石灰1号																																				
	・消石灰1号																																				
2 路盤	<p>舗装の種類と路盤の厚さ (22.3.2)(表22.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="2">路盤の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> <tr> <td>・アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・350</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・カー舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・350</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート舗装</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・透水性アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・排水性アスファルト舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・のり(のり)舗装</td> <td>・100 ・150 ・250 ・</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・転圧コンクリート舗装</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート平版舗装</td> <td></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>・積石舗装</td> <td></td> <td>50</td> </tr> </table> <p>路盤材料 (22.3.3)(表22.3.3)</p> <p>※砕石及び再生材のクワツツラン又はクワツツラン鉄鋼スプツ</p> <p>路盤の締め度試験 ※行う ・行わない (22.3.5)</p>	舗装の種類	路盤の厚さ(mm)		車道部	歩道部	・アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・350	100	・カー舗装	・100 ・150 ・250 ・350		・コンクリート舗装	150		・透水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・排水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・のり(のり)舗装	・100 ・150 ・250 ・	100	・転圧コンクリート舗装	150		・コンクリート平版舗装		100	・積石舗装		50				
舗装の種類	路盤の厚さ(mm)																																				
	車道部	歩道部																																			
・アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・350	100																																			
・カー舗装	・100 ・150 ・250 ・350																																				
・コンクリート舗装	150																																				
・透水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																			
・排水性アスファルト舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																			
・のり(のり)舗装	・100 ・150 ・250 ・	100																																			
・転圧コンクリート舗装	150																																				
・コンクリート平版舗装		100																																			
・積石舗装		50																																			
3 アスファルト舗装	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2)</p> <p>※図示</p> <p>車道部の基礎の適用 ・適用する (22.4.2)</p> <p>舗装の平坦性 (22.4.2)</p> <p>※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>再生アスファルトの種類 (22.4.4)(表22.4.4)</p>																																				

設計概要			
1 一般事項			
工事名称	国宝 興福寺五重塔 揚前工事		
敷地	敷地位置	奈良市登大路町49番地 興福寺境内	
	都市計画区域	●都市計画区域内 (○市街化区域 ●市街化調整区域) ○都市計画区域外	
	用途地域	○第1低住専 ○第2低住専 ○第1中高住専 ○第2中高住専 ○第1住居 ○第2住居 ○準住居 ○近隣商業 ○商業 ○準工業 ○工業 ○工業専用 ●指定なし	
	防火地域	○防火 ●準防火 ○指定なし ○法22条指定区域 ○2つの地域にわたる場合 (防火 m <sup>2</sup> 準防火 m <sup>2</sup> )	
	その他の指定 (都市計画)	○美観地区 ●風致地区 ●歴史的風土保存地区 ○駐車場整備地区 ○土地区画整理事業地区 ○m高度地区 ○特定街区 ○宅地造成工事規制区域 ○砂防地区 ○総合的計画による1団地 ○その他 ○農地転用 ○開発許可	
道路	道路巾員	西側 約4.5m, 東側 約6.0m	
	壁面線後退		
面積	敷地面積	約 3,900 m <sup>2</sup>	
		申請部分	申請以外の部分
	建築面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
	延べ面積 (仮設足場含む)	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
工事概要	工事種別	○新築 ○増築 ○別棟増築 ○増改築 ○改築 ○移転 ○用途変更 ●大規模の修繕 ○大規模の模様替え ○改修	
	主要用途	建築用仮設(修繕工事用架台) (消防法における防火対象物の区分 12項 イ・ロ特定防火対象物) ○防災品	
	駐車場等	申請部分	m <sup>2</sup> 台
		申請以外の部分	m <sup>2</sup> 台
	工作物等	鉄骨架台基礎、揚前工事用鉄骨架台	
形態規制	工期予定	現場説明書による	
	高度地区	●有 内容: 高さ規制	
	高度利用地区	●有 内容: 容積率規制 %以上	
	斜線制限	道路斜線 無 ・隣地斜線 無 ・北側斜線	
	日影規制	有 ・● 規制地域に影を落とす	
総合設計			
建ぺい率			
容積率			

2 建物概要			
棟名	基礎・柱	名階床面積	3階:二重目軒 m <sup>2</sup> 6階:五重目軒 m <sup>2</sup>
建物用途	屋根		2階:一重目軒 m <sup>2</sup> 5階:四重目軒 m <sup>2</sup>
工事種別	外壁		1階:地長押下鋪 m <sup>2</sup> 4階:三重目軒 m <sup>2</sup>
構造・規模	軒裏	高さ	最高の高さ m 最高の軒の高さ m
耐火建築物			
建築設備の種類	●給水 ●排水 ●電気 ○ガス ●換気 ○空調 ●避雷設備 ●昇降機 ○非常用照明 ○非常用エレベーター ○誘導設備 ○警備保障		
	上水道	換気扇	
消防設備の種類	●自動火災報知設備 ○非常警報 ○誘導照明 ○非常照明 ○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○連絡送水管 ○消防用水利 ○屋外消火栓 ○非常コンセント ○連絡散水 ●消火器		

諸官庁届一覧表 ※各種届出(下記に記載がないものも全て含む)については、施工時期に合わせて施工者の方で作成し届出すること。

関連法令等	関係部署名	協議内容	備考
建築基準法	奈良市建築指導課	・素屋根は大規模で長期設置することになるが、基本的には仮設である。 ・仮設として取り扱ひ、建築基準法の対象とはならない為、確認申請は不要。	
都市計画法	奈良市開発指導課	・工所用仮設となる為、開発許可申請は不要。	
	奈良市都市計画課	・第一種風致地区及び歴史的風土特別保存地区内にある為、仮設の建築物であっても風致地区内行為における許可及び歴史的風土特別保存地区内行為許可が必要。 ・景観法による届出は不要。 ・看板・広告物の内容により許可・届出が必要となる為、設置する場合は詳細が決まり次第協議すること。	※ 工事着工までに発注者により提出 ※ 現場事務所等の仮設建築物も許可対象となる
文化財保護法	奈良市開発指導課 奈良県文化財課	・掘削が伴わなければ、素屋根及び仮設物に関する許可は可能である。 ・樹木の伐採については文化庁の許可が必要である。	※ 現状変更等許可申請は発注者により提出
消防法	奈良市消防局	・放水銃について一時的な使用の中止などの変更がある場合は指定建築物防災施設設置届出書の提出が必要。 ・素屋根工事着工前に指定建築物工事届出書の提出が必要。	※ 工事着工5日前までに提出
労働安全衛生法	奈良労働基準監督署	・特定元方事業開始報告 ・適用事業報告 ・時間外労働・休日労働に関する協定書(36協定)	※ 工事開始までに提出 ※ 工事開始までに提出
その他(留意すべき事項)			
興福寺諸行事	興福寺	・月例法要(寺役)の際、音が出る工事は不可であり、作業開始が9時半以降となる。 ※毎月1日、5日、8日、15日、17日、18日(変更する場合があります) ・日中法要が行われる場合は、工事作業は不可(終日ではなく、部分的に)	
電力関係	関西電力送配電	・近い将来、三条通りの電線共同溝無電柱化工事の計画がある。(着工時期は未定)	
防犯関係	興福寺	・取外した機器類は将来再使用とする。	※ 素屋根撤去時に同じ位置に復旧できるように明示等すること
投光設備	奈良公園室	・投光器設備一式は取外しの上、将来再使用とする。	



【歴史景観地域(歴史拠点景観区域・歴史的な風土景観区域)の色彩基準】:仮設事務所設置の場合

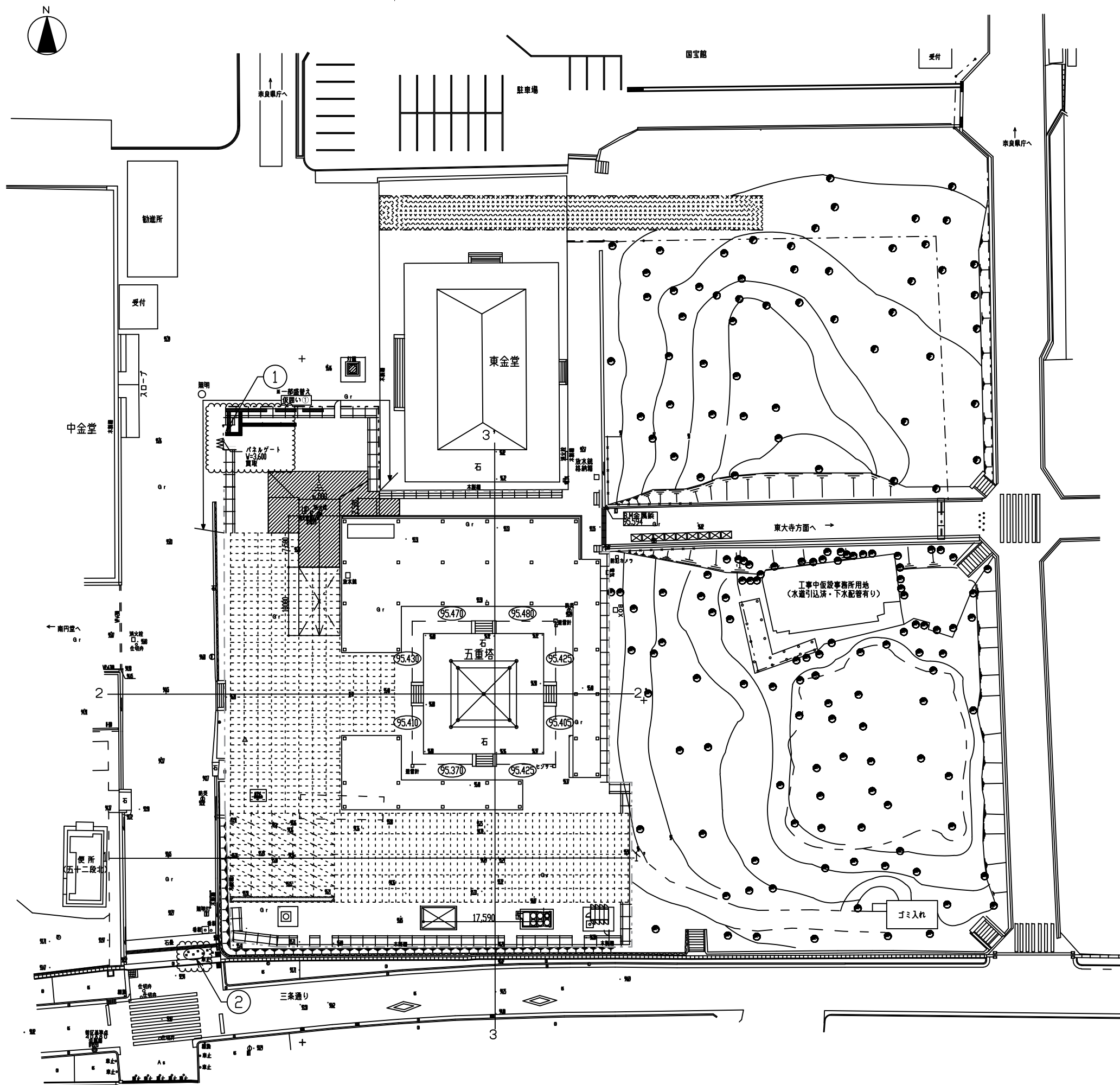
外壁	色相区分		明度区分		彩度の上限		備考	
	R系	Y系	0.0R以上	5.0R未満	0.0Y以上	5.0Y未満		
R系	0.0R以上	7.0以上	7.0以上	7.0以上	-	-	使用不可	
			5.0以上7.0未満	5.0以上7.0未満	1.0以下	-	使用不可	
	5.0R未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	2.0以下	-	使用不可	
			2.0未満	2.0未満	-	-	使用不可	
	5.0R以上	7.0以上	7.0以上	7.0以上	-	-	使用不可	
			5.0以上7.0未満	5.0以上7.0未満	2.0以下	-	使用不可	
	10.0R未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	3.0以下	-	使用不可	
			2.0未満	2.0未満	-	-	使用不可	
	Y R系	0.0Y R以上	7.0以上	7.0以上	7.0以上	-	-	使用不可
				5.0Y R未満	5.0Y R未満	2.0以下	-	使用不可
5.0Y R未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	4.0以下	-	使用不可		
		2.0未満	2.0未満	-	-	使用不可		
5.0Y R以上	7.0以上	7.0以上	7.0以上	-	-	使用不可		
		5.0Y R以上	5.0Y R以上	2.0以下	-	使用不可		
10.0Y R未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	4.0以下	-	使用不可		
		2.0未満	2.0未満	-	-	使用不可		
Y系	0.0Y 以上	7.0以上	7.0以上	7.0以上	-	-	使用不可	
			5.0Y 未満	5.0Y 未満	3.0以下	-	使用不可	
5.0Y 未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	4.0以下	-	使用不可		
		2.0未満	2.0未満	-	-	使用不可		
5.0Y 以上	7.0以上	7.0以上	7.0以上	-	-	使用不可		
		5.0Y 以上	5.0Y 以上	2.0以下	-	使用不可		
10.0Y 未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	2.0以上5.0未満	4.0以下	-	使用不可		
		2.0未満	2.0未満	-	-	使用不可		
その他の色相	無彩色	-	-	-	-	使用不可		
		7.0以上	7.0以上	0	-	使用可		
		2.0以上7.0未満	2.0以上7.0未満	0	-	使用可		
		2.0未満	2.0未満	-	-	使用不可		

(※)ただし、無塗装又は透明塗装された自然素材を使用する場合は、この限りでない。  
【興福寺五重塔該当地区】  
風致地区種別:第一種風致地区  
風致地区名:春日山風致地区  
風致地区ゾーン:ゾーン1  
歴史的風土特別保存地区:春日山特別保存地区  
歴史的風土保存地区:春日山保存区域  
景観区域:歴史拠点景観区域(歴史)

■撤去・改造凡例

記号	対象物	撤去・改造内容	改修内容
①	ゲート改造	改造	場内保管 撤前工事後復旧 場内保管 撤前工事後復旧
②	車止め5本	仮撤去	場内保管 撤前工事後復旧

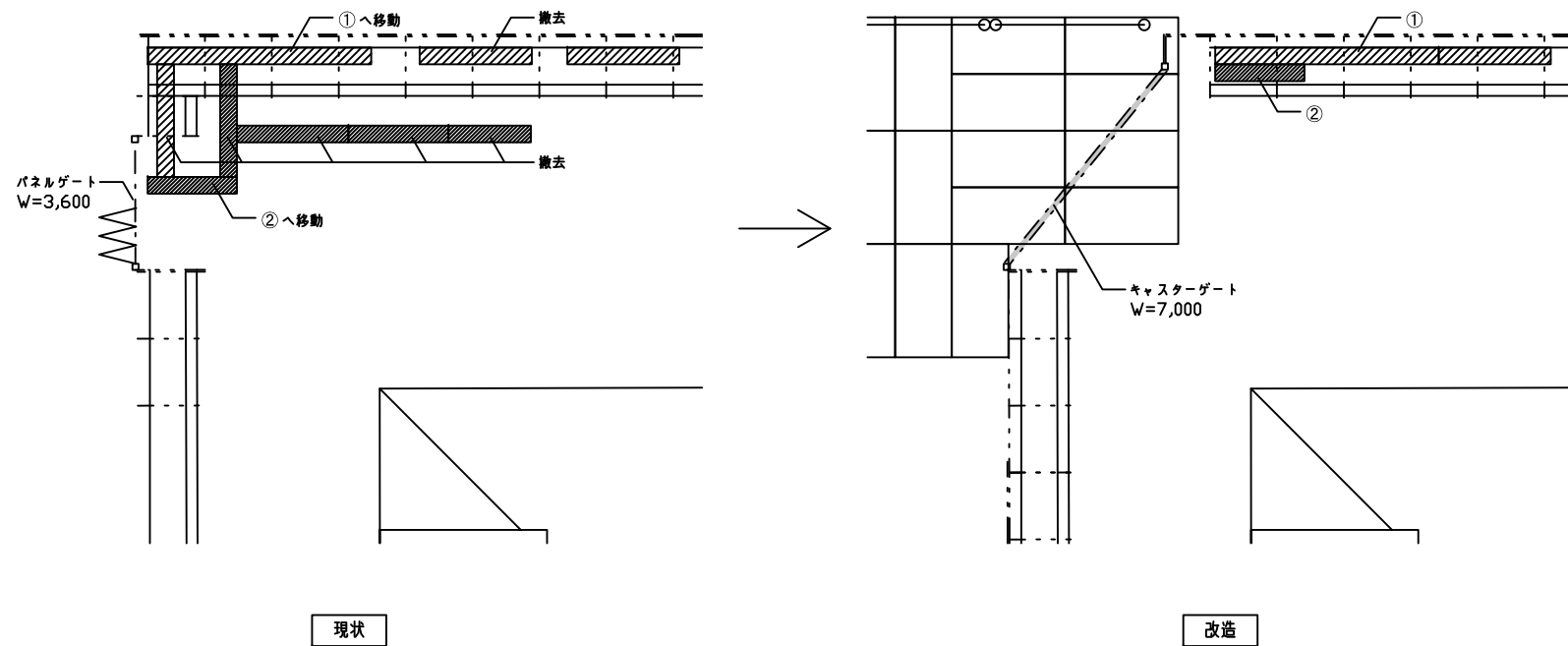
※ 保管場所は現場にて監督員と協議の上決定とする。  
また、保管は慎重に適宜養生の上、保管すること。



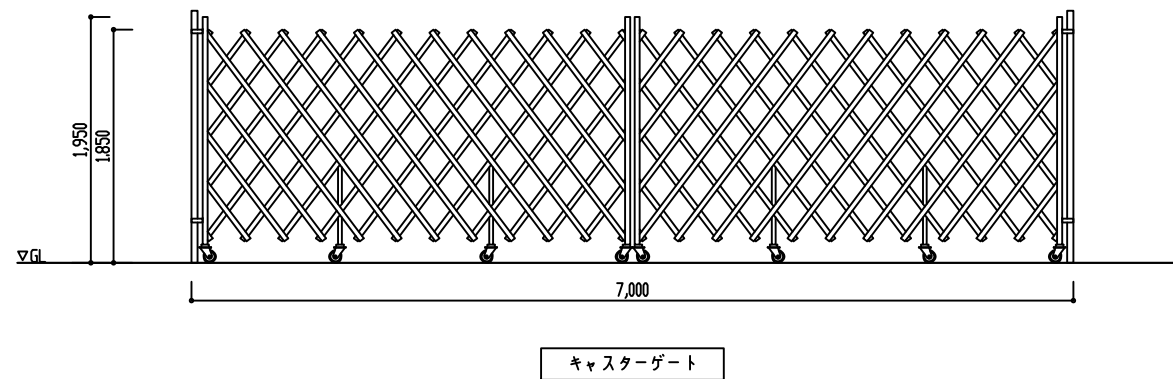
■敷地概要

計画地	奈良市登大路町48番地 興福寺境内
敷地面積	約3,900m <sup>2</sup> (受領資料より)
用途地域	指定なし
防火地域	準防火地域
高度地域	指定なし
その他地域	第1種風致地区・歴史拠点景観区域(歴史)・風致地区
道路	東側: 5m 南側: 6m
計画道路	指定なし
敷地形状	高低差 (㊦)・無

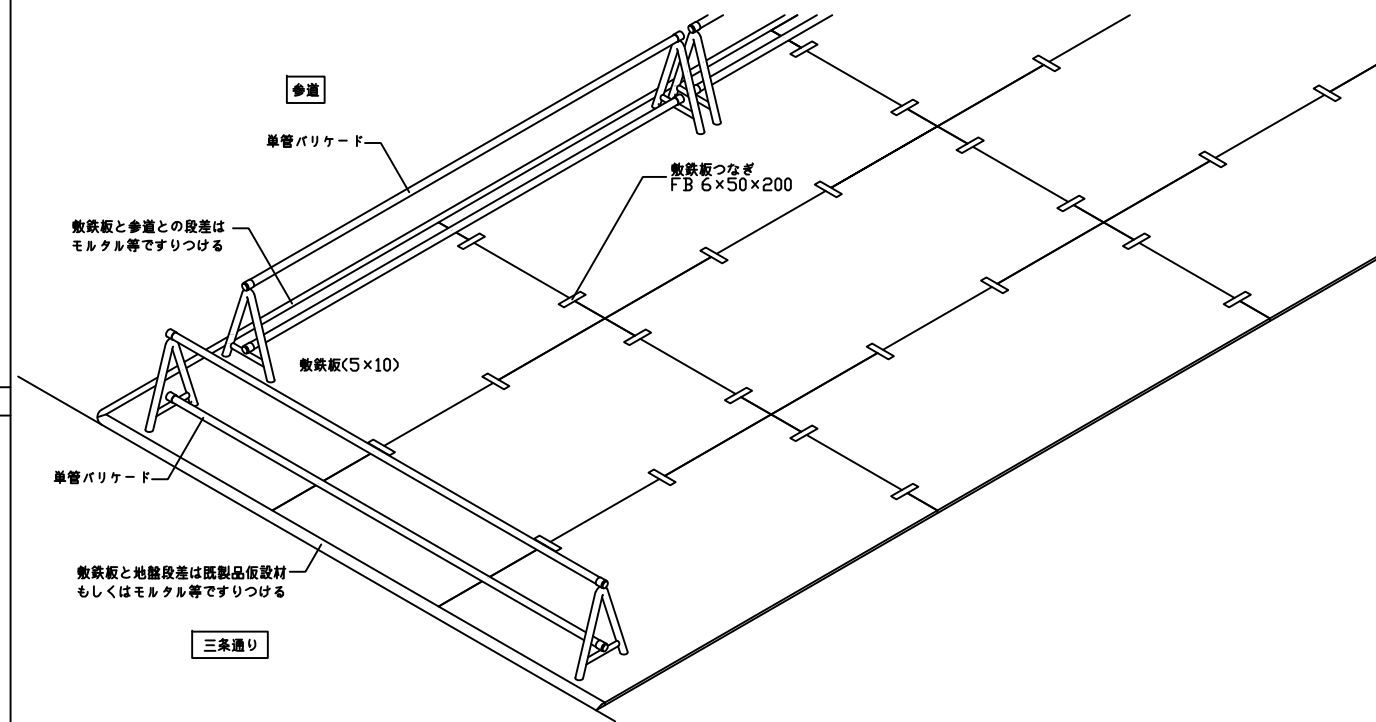
① ゲート改造詳細図 S=1/100



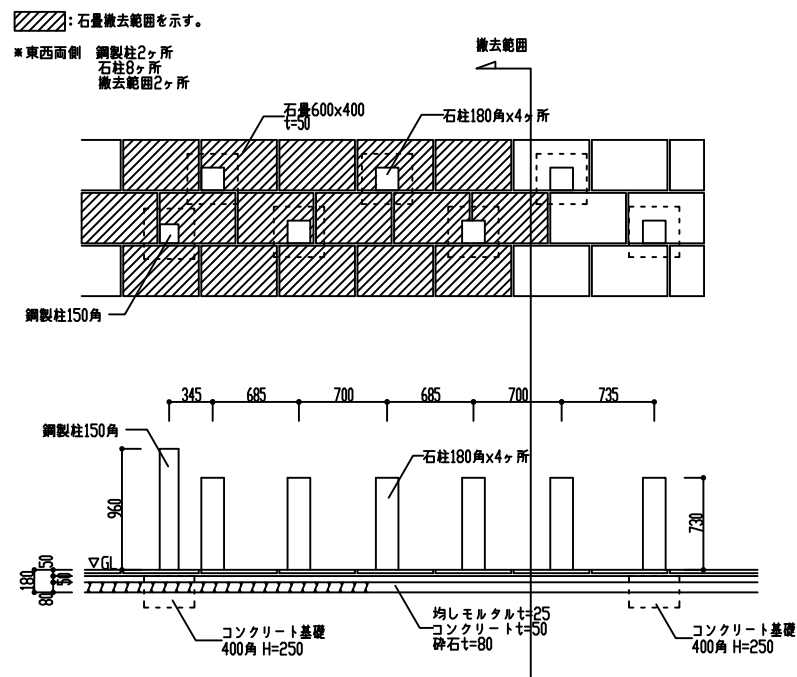
③ キャスターゲート改造詳細図 S=1/30



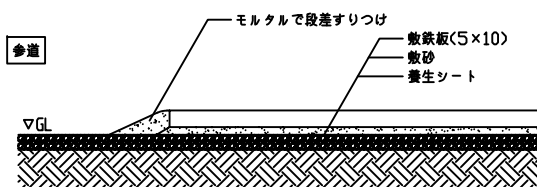
④ 仮設通路鉄板敷設要領 S=1/30



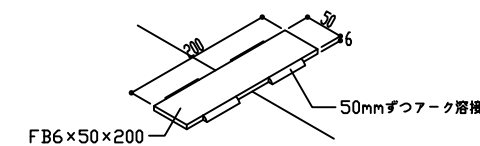
② 車止め詳細図 S=1/30



⑤ 現状地盤とのすりつけ要領 S=1/5



⑥ 敷鉄板つなぎ溶接要領 S=1/5



記事	
変更	
訂正	

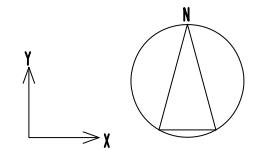
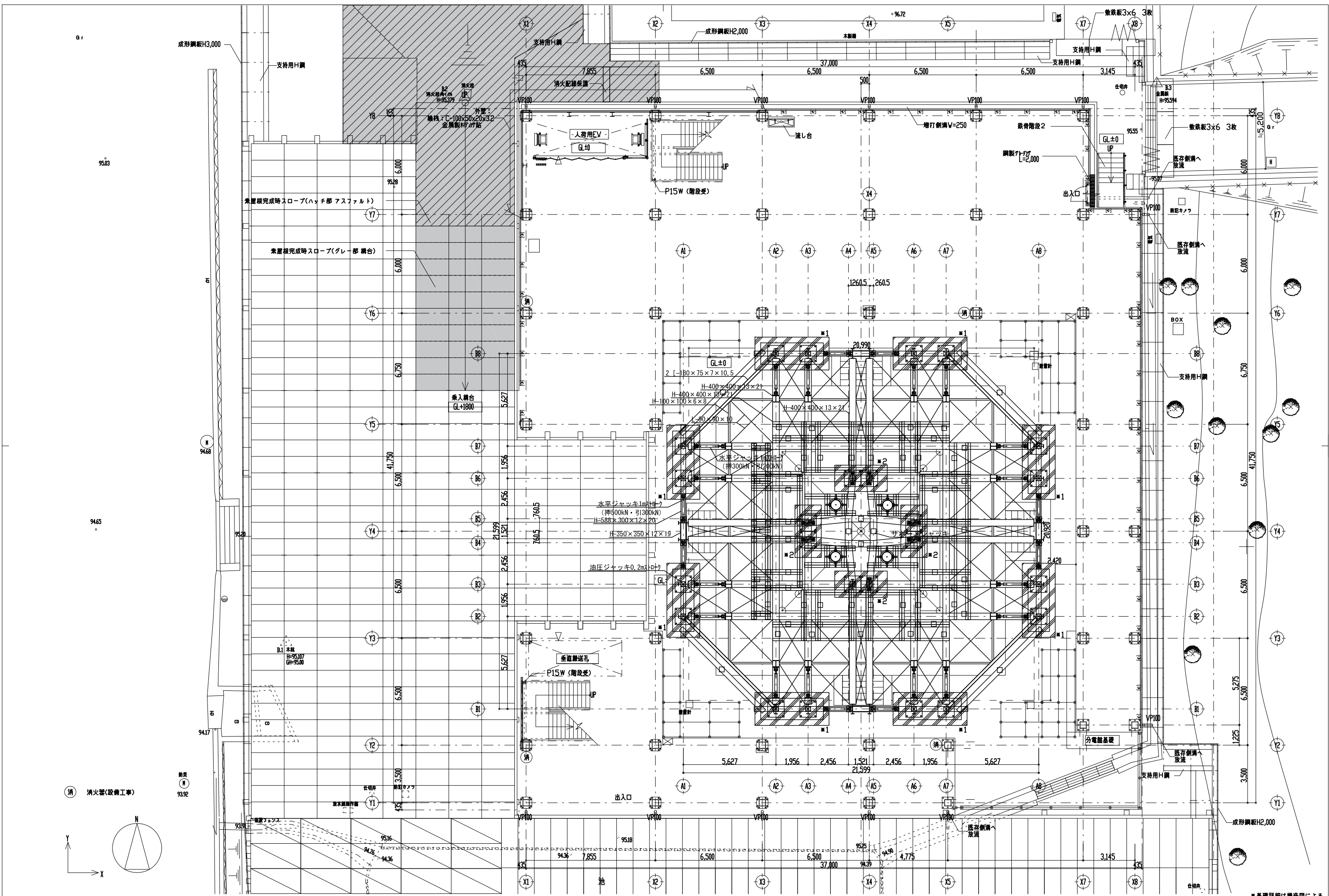
年月日	
年月日	

登録印	
年月日	



年月日	2026.3.27	工事名称	国宝 興福寺五重塔 揚前工事	図面番号	A-11
縮尺	A1 1:30 A3 1:60	図面名称	撤去・改造詳細図		



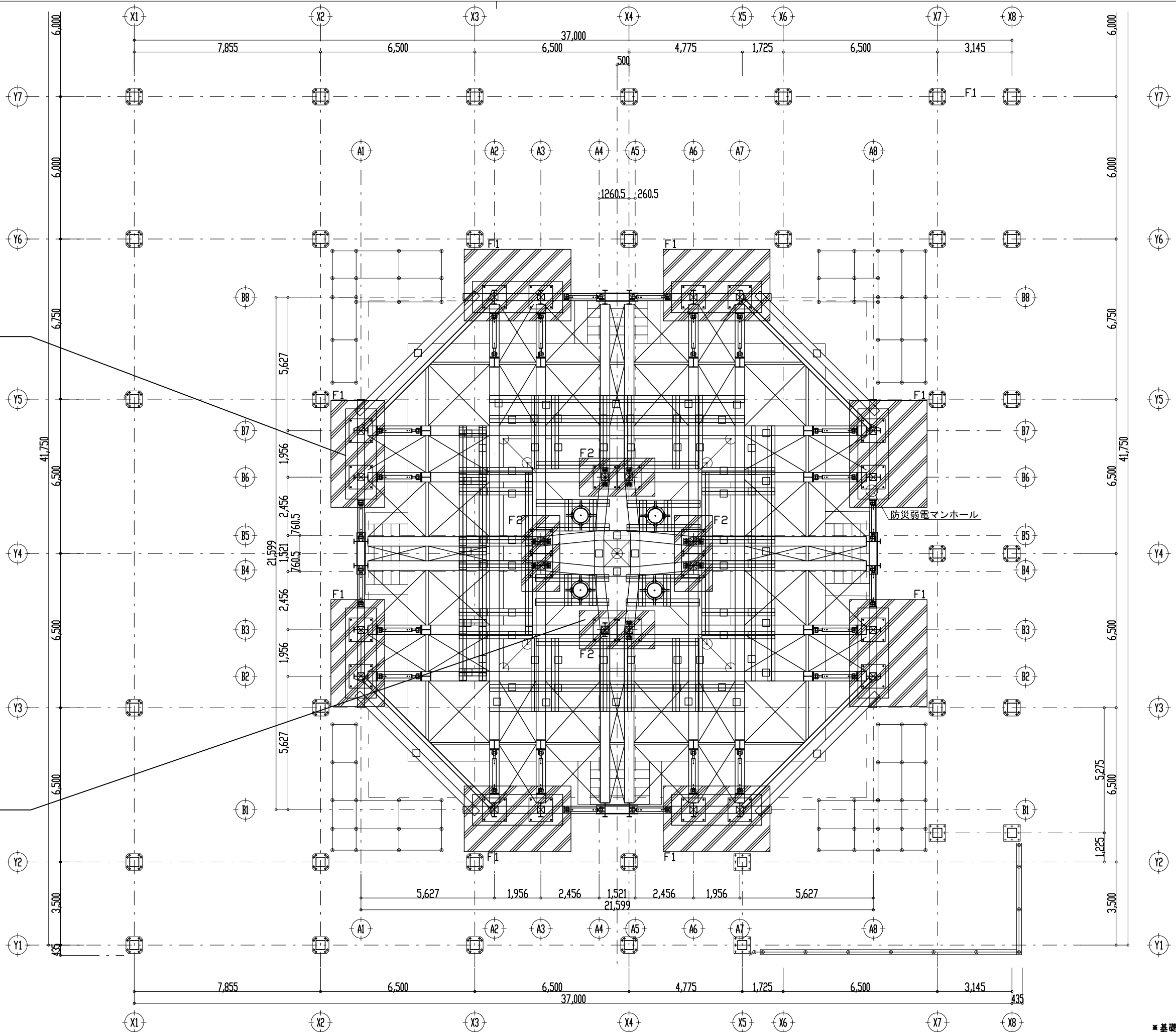
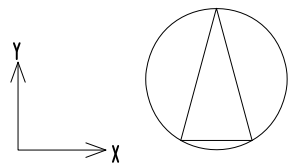


※基礎詳細は構造図による

記事	変更	図面番号	2026.3.27	工事名称	国宝 興福寺五重塔 揚前工事	図面番号	A-13
	訂正	縮尺	A1 1: 100 A3 1: 200	図面名称	ジャッキアップ架台配置基準図		
年月日		SHIMIZU CORPORATION		SHMZ			

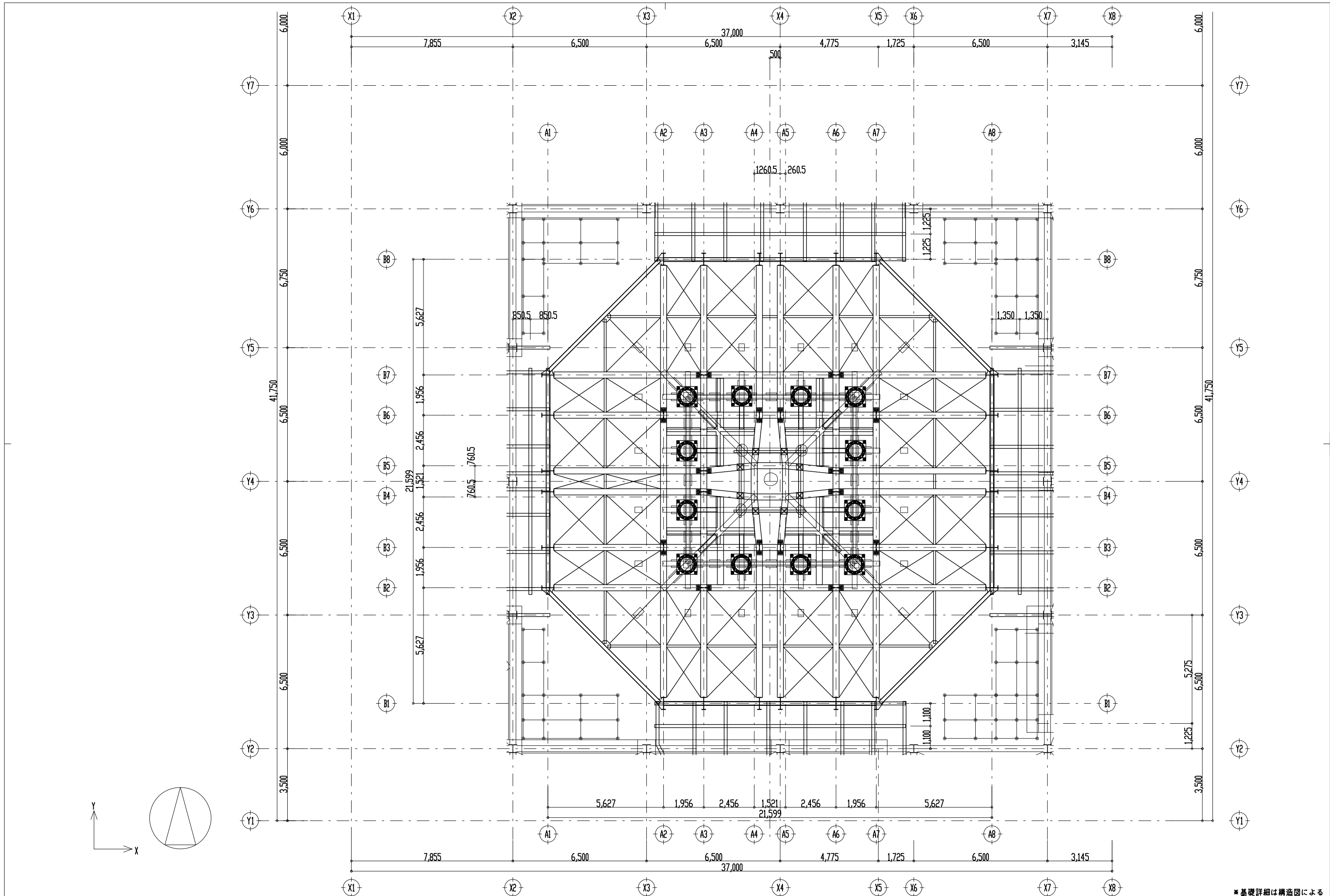
F1:ワイヤーソーを使用したの切断小割り解体を想定している。  
基礎解体時は排水等で既存建物を汚損しないよう養生をして作業を行う。

F2:手持ちブレイカーを使用したの小割り解体を想定している。  
基礎解体時は仮設の小屋を設置し、適切に換気、養生を実施して作業を行う。



\*基礎詳細は構造図による

記事	変更	年月日	登録印	SHMZ	年月日	2026.3.27	工事名称	国宝 興福寺五重塔 揚前工事	図面番号	A-14
	訂正				箱尺	A1 1: 80	図面名称	ジャッキアップ架台基礎部伏図		
					A3 1: 160					



\*基礎詳細は構造図による

記事	変更
	訂正

年月日	2026.3.27
縮尺	A1 1: 80 A3 1: 160
図面名称	ジャッキアップ架台上層断面図

登録印

**SHMZ**

年月日

年月日	2026.3.27	工事名称	国宝 興福寺五重塔 揚前工事	図面番号	A-15
縮尺	A1 1: 80 A3 1: 160	図面名称	ジャッキアップ架台上層断面図		









